EPSON
EXCEED YOUR VISION

取扱説明書

EH-TW5200

Home Projector

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。

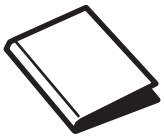
安全にお使いいただくために/ サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。

取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

スタートアップガイド



本機を設置する流れを記載しています。最初にお読みください。

説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例：[画質] − [カラーモード]
ボタン名	リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。 例：Menu ○ ボタン

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方 1

説明書中の表示の意味 2

安全に関する表示 2

一般情報に関する表示 2

「本機」または「本プロジェクター」という表記について 2

はじめに

本機の特長 6

臨場感あふれる3D立体表示 6

スマートフォンの画面を高品質で投写 6

かんたん、楽に設置・投写・片付け 6

すばやく画面調整 6

接続不要で気軽に投写 6

映像をより楽しむための機能 7

各部の名称と働き 8

前面/ 上面 8

操作パネル 9

リモコン 10

背面 12

底面 13

外形寸法図 14

使い始めるまでの準備

設置しよう 15

いろいろな投写方法 15

投写サイズを調整する 16

機器と接続しよう 17

ビデオ機器との接続 17

コンピューターとの接続 17

外部機器との接続 18

スマートフォン・タブレット端末の接続 18

USB機器の接続 18

無線LANユニットの取り付け 19

ワイヤーロックの取り付け 20

リモコンを準備しよう 21

リモコンに電池をセットする 21

リモコンの操作範囲 21

操作可能範囲（左右） 21

操作可能範囲（上下） 21

基本操作

投写と終了のしかた 22

電源を入れて投写する 22

目的の映像が映らない場合 23

電源の切り方 23

投写画面を調整しよう 24

テストパターン表示 24

ピント調整（フォーカス調整） 24

投写サイズの調整（ズーム調整） 24

映像の高さを調整する 25

本機の傾きを調整する 25

台形ゆがみを補正する 25

自動で補正する（自動タテ補正） 25

手動で補正する（スライド式ヨコ補正） 26

手動で補正する（タテヨコ補正） 26

音量を調節する 27

映像と音声を一時的に消す 28

画質の調整

画質の調整をしよう 29

映り具合を選ぶ（カラーモード） 29

画面をフルやズームに切り替える（アスペクト） 30

こだわりの色調整をしよう 32

色相・彩度・明度の調整 32

RGBの調整（オフセット・ゲイン） 32

色温度 33

さらに画質を究めよう 34

シャープネスの調整 34

オートアイリス（自動絞り）の設定 34

映像処理 34

便利な機能

3Dを楽しもう 35

3Dに設定する 35

本機が3Dフォーマットを判別できるとき 35

本機が3Dフォーマットを判別できないとき 35

3D映像が見えないときは 35

3Dメガネを使用する 36

3Dメガネを充電する 36

3Dメガネをペアリングする 36

3Dメガネの装着 37

3D映像を見る範囲 37

3D映像視聴に関する注意 38

HDMIリンクで操作しよう 41

HDMIリンク機能 41

HDMIリンク設定 41

接続機器一覧 42

写真データの再生（スライドショー） 43

再生できるデータ 43

スライドショーの実行 43

画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定 44

環境設定メニュー

環境設定メニューの機能 45

環境設定メニューの操作 45

環境設定メニュー一覧 46

画質メニュー 46

映像メニュー 47

設定メニュー 49

拡張設定メニュー 51

ネットワークメニュー 52

情報メニュー 55

初期化メニュー 56

困ったときに

故障かなと思ったら 57

インジケーターの見方 57

異常/警告時のインジケーターの状態 57

正常動作時のインジケーターの状態 59

インジケーターを確認してもわからないとき 60

現象の確認 60

映像に関するトラブル 60

投写開始時のトラブル 65

リモコンでのトラブル 65

3Dでのトラブル 65

HDMIのトラブル 66

USBストレージデバイスのトラブル 67

その他のトラブル 67

Event ID について 68

メンテナンス

お手入れの方法 69

各部の掃除 69

エアフィルターの掃除 69

本体の掃除 69

レンズの掃除 70

3Dメガネの掃除 70

消耗品の交換時期 70

エアフィルターの交換時期 70

ランプの交換時期 70

消耗品の交換 71

エアフィルターの交換方法 71

ランプの交換方法 72

ランプ点灯時間初期化 74

付録

オプション・消耗品一覧 75

オプション品 75

消耗品 75

対応解像度一覧 76

コンピューター映像（アナログRGB） 76

コンポジットビデオ 76

HDMI1/HDMI2入力信号 76

MHL入力信号 76

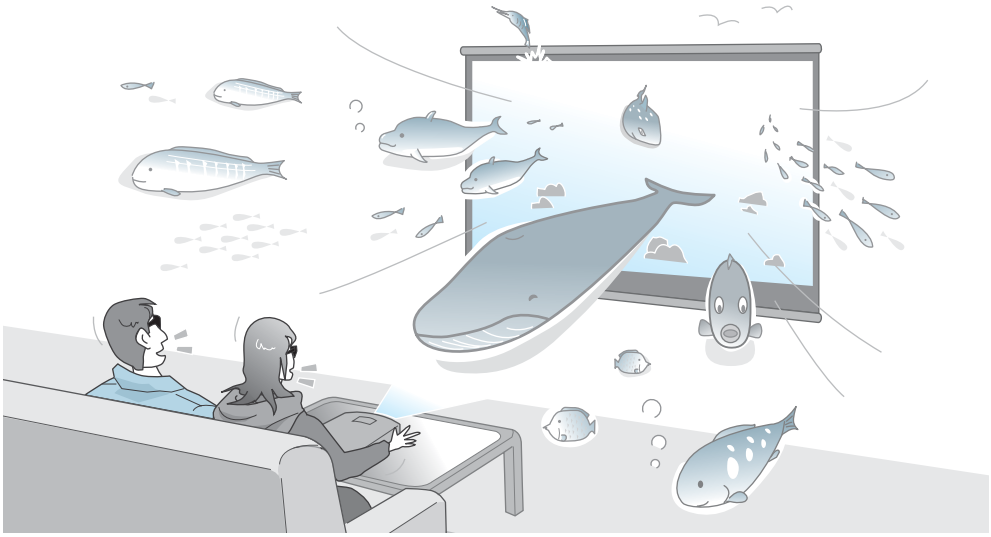
3D入力信号 HDMI 77

3D入力信号 MHL 77
仕様一覧 78
用語解説 80
一般のご注意 82
3Dメガネ使用上の注意事項 83
商標について 83

本機の特長

臨場感あふれる3D立体表示

3D機能により、ブルーレイなどの3Dコンテンツや3Dカメラで撮影した映像を、大迫力の投写映像で楽しめます。☛ p.35



スマートフォンの画面を高品質で投写

MHL（Mobile High-definition Link）規格に対応し、スマートフォン・タブレット端末の写真や動画を高画質・高音質で楽しむことができます。

MHL対応のスマートフォンまたはタブレット端末と、MHLケーブル（市販品）が必要です。☛ p.18

かんたん、楽に設置・投写・片付け

- 大きなスクリーンにも短距離で投写可能
- レバー1つで簡単に高さを調整
- クールダウン不要ですばやく片付け

すばやく画面調整

ヨコ補正スライダーを使って、真正面に設置できない場所でも、台形にゆがんだ映像をすばやく調整できます。スライダーで調整するため、感覚的な操作で補正できます。☛ p.26

接続不要で気軽に投写

無線LANに接続すると、プロジェクター本体にケーブルを接続する必要がなく、場所を選ばず気軽に投写を楽しめます。

無線LAN接続にはオプションの無線LANユニットが必要です。また、専用のアプリケーションをダウンロードする必要があります。 ☛ p.19

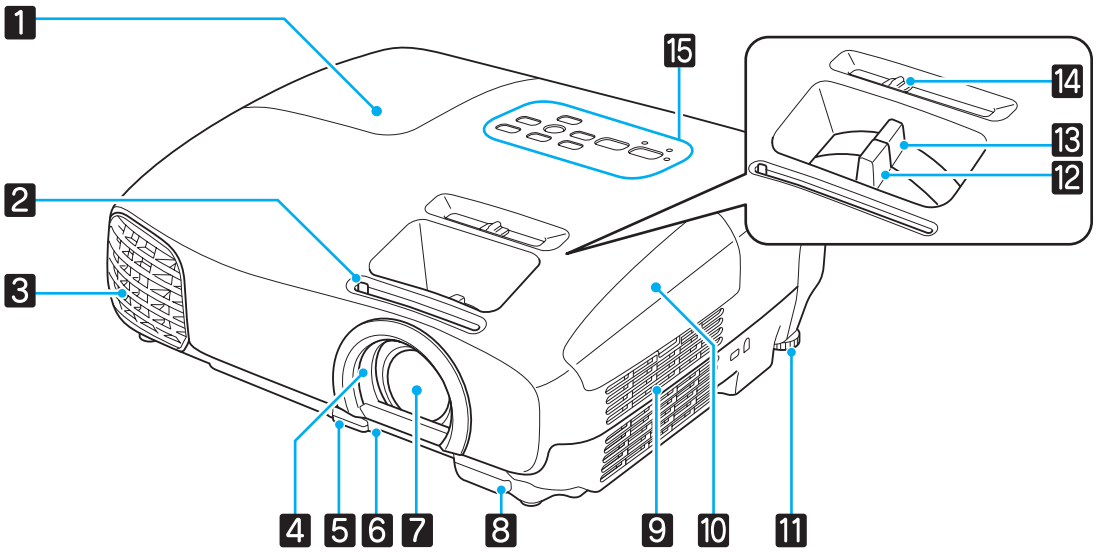
映像をより楽しむための機能

その他にも、次のような多彩な機能があります。

- 内蔵スピーカーで音声再生。外付けスピーカーがなくても音声を楽しめます。
- USBメモリーを接続するだけで静止画を楽しめるスライドショー。デジタルカメラを接続すれば、カメラ内の写真を［スライドショー］で楽しめます。 ☛ p.43

各部の名称と働き

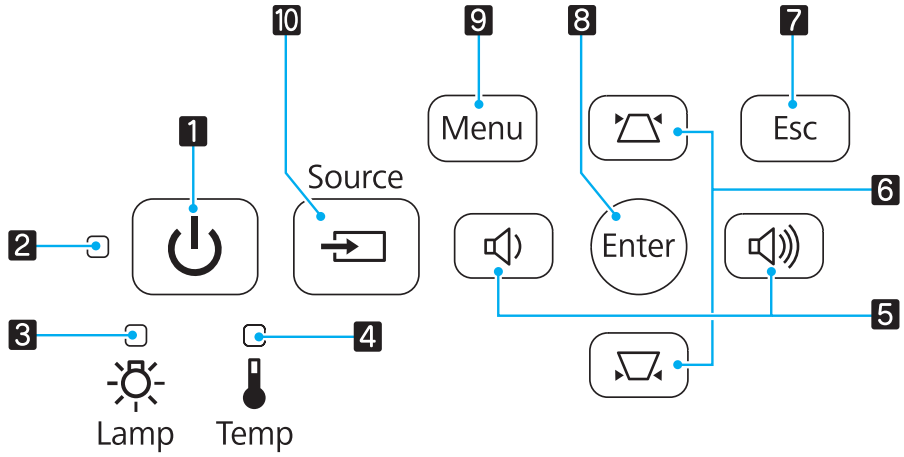
前面/ 上面



名称		機能
1	ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛ p.72
2	スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせて、レンズカバーの開閉をします。 投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。 ☛ p.28
3	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 **⚠ 注意** 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
4	レンズカバー	本機を使用しないときに閉じ、レンズを傷や汚れから保護します。 ☛ p.22
5	フロントフットレバー	フットレバーを押して、フロントフットの高さを調整します。 ☛ p.25
6	フロントフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて映像の高さを調整します。 ☛ p.25
7	投写レンズ	ここから映像を投写します。
8	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。 ☛ p.21
9	吸気口	本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。
10	エアフィルターカバー	エアフィルターの交換時にこのカバーを開けてエアフィルターを取り出します。 ☛ p.71
11	リアフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛ p.25

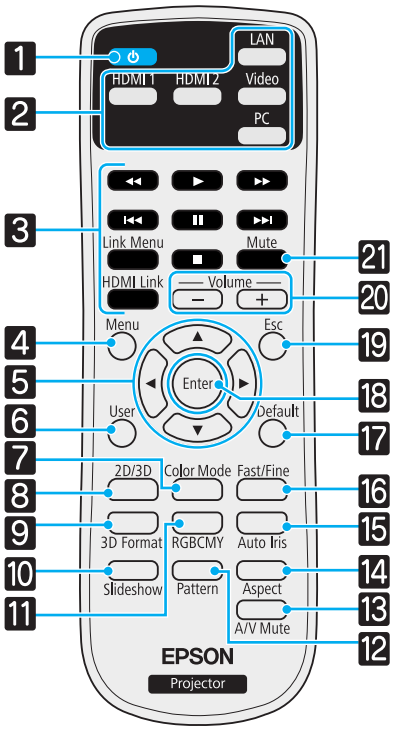
名称		機能
12	フォーカスリング	映像のピントを合わせます。 ☛ p.24
13	ズームリング	映像のサイズを調整します。 ☛ p.24
14	ヨコ補正スライダー	ヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 ☛ p.26
15	操作パネル	本体上面にある操作パネルです。 ☛ p.9

操作パネル

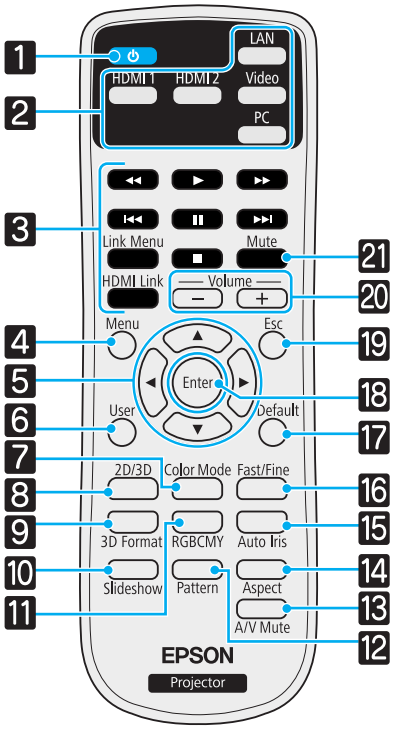


ボタン/インジケーター		機能
1	⏻	プロジェクターの電源をオン/オフします。 ☛ p.22 プロジェクターに電源が供給されているときに点灯します。 ☛ p.59
2	オペレーションインジケーター	ウォームアップ中、クールダウン中を点滅で示します。他のインジケーターとの組み合わせで本機の状態を点灯・点滅で示します。 ☛ p.57
3	Lamp	ランプ交換の時間に達するとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。 ☛ p.57
4	Temp	内部が高温になるとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。 ☛ p.57
5		ボリュームやメニュー項目の調整値を選択します。 ☛ p.27 台形補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形補正をします。 ☛ p.26
6		台形ゆがみやメニュー項目の調整値を選択します。 ☛ p.26
7	Esc	メニュー表示中、1つ上の階層に戻ります。 ☛ p.45
8	Enter	メニュー表示中に機能や設定値を選択します。 ☛ p.45
9	Menu	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。 ☛ p.45
10	Source	各入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.23

リモコン

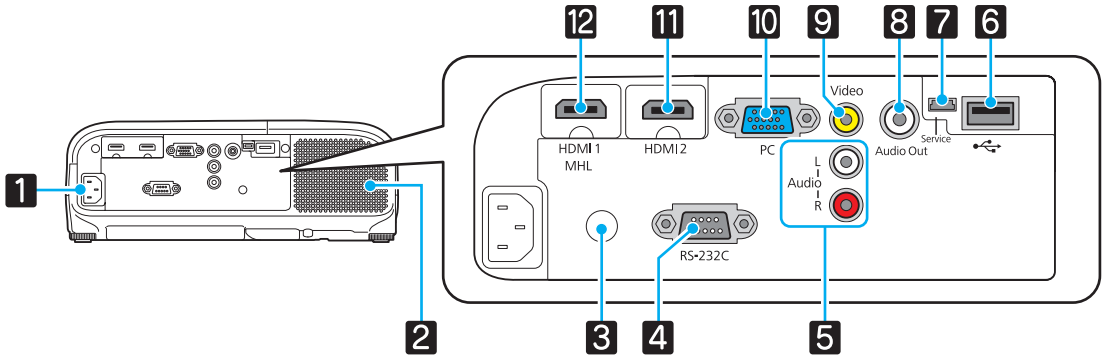


ボタン		機能
1	⏻	プロジェクターの電源をオンします。 ☛ p.22
2	LAN HDMI 1 HDMI 2 Video PC	各入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.23
3	HDMI Link	このボタンはHDMIリンクの設定メニューを表示するボタンです。 その他のボタンでは、HDMI CEC規格またはMHL規格に対応した接続機器の再生、停止、音量調整などを操作します。 ☛ p.41
4	Menu	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。 ☛ p.45
5	▲ ▼ ◀ ▶	メニュー項目や調整値を選択します。 ☛ p.45
6	User	ユーザーボタンに割り当てた機能を実行します。 ☛ p.49
7	Color Mode	[カラーモード] を切り替えます。 ☛ p.29
8	2D/3D	2Dと3Dの切り替えをします。 ☛ p.35
9	3D Format	3Dフォーマットを変更します。 本機は、以下の3Dフォーマットに対応しています。 • フレームパッキング • サイドバイサイド • トップアンドボトム ☛ p.35
10	Slideshow	USB入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.43
11	RGBCMY	RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整します。 ☛ p.32



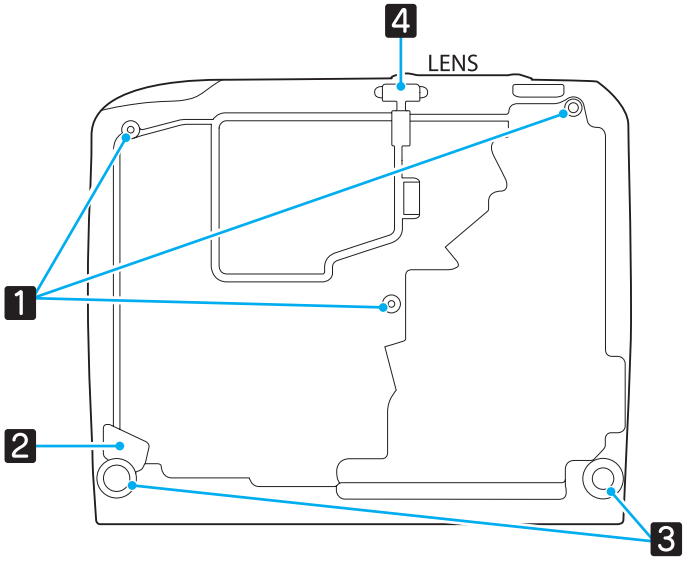
ボタン		機能
12	Pattern	テストパターンを表示/終了します。 ☛ p.24
13	A/V Mute	映像と音声を一時的に消す/再開します。 ☛ p.28
14	Aspect	入力信号に応じてアスペクトモードを選択します。 ☛ p.30
15	Auto Iris	オートアイリスを設定します。 ☛ p.34
16	Fast/Fine	ゲームなどの動きの速い映像をスムーズに投写します。 ☛ p.34
17	Default	メニューの調整画面が表示されているときに押すと、調整値が初期値に戻ります。 ☛ p.45
18	Enter	メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛ p.45
19	Esc	メニュー表示中、1つ上の階層に戻ります。 ☛ p.45
20	− / +	音量を調整します。 ☛ p.27
21	Mute	音声を一時的に消す/再開します。 ☛ p.28

背面



名称		機能
1	電源端子	電源コードを接続します。 ☛ p.22
2	スピーカー	本機の内蔵スピーカーです。音声を再生します。
3	リモコン受光部	リモコン信号を受光します。 ☛ p.21
4	RS-232C端子	本機を制御するときに、RS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。 ☛ p.78
5	Audio (L-R)端子	Video入力端子、PC入力端子に接続した機器の音声を入力します。 ☛ p.17
6	USB入力端子	USBメモリーやデジタルカメラなどのUSB機器を接続し、ストレージデバイス内の画像をスライドショーで表示します。 ☛ p.18 その他にも、オプションの無線LANユニットを接続します。 ☛ p.19
7	Service端子	サービス端子です。通常は使用しません。
8	Audio Out端子	再生中の音声を外部スピーカーに出力します。
9	Video入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ出力端子と接続します。 ☛ p.17
10	PC入力端子	コンピューターのRGB出力端子と接続します。 ☛ p.17
11	HDMI2入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.17
12	HDMI1入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.17 その他にも、MHLに対応したスマートフォンやタブレット端末を接続します。 ☛ p.18

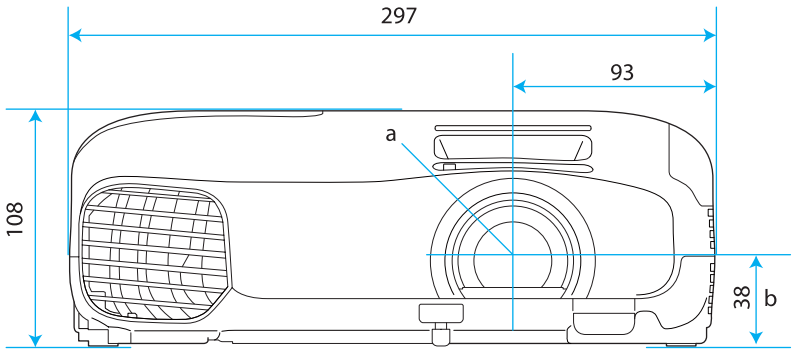
底面



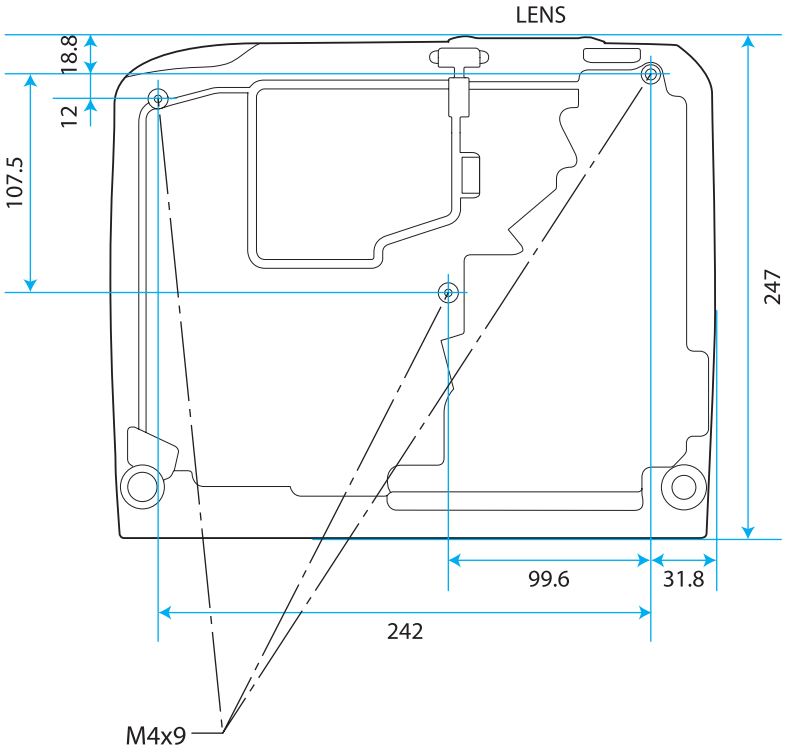
名称		機能
1	天吊固定部（3箇所）	天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛ p.75
2	セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 ☛ p.20
3	リアフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛ p.25
4	フロントフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて映像の高さを調整します。 ☛ p.25

外形寸法図

単位：mm



a　レンズ中心
b　レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



設置しよう

いろいろな投写方法

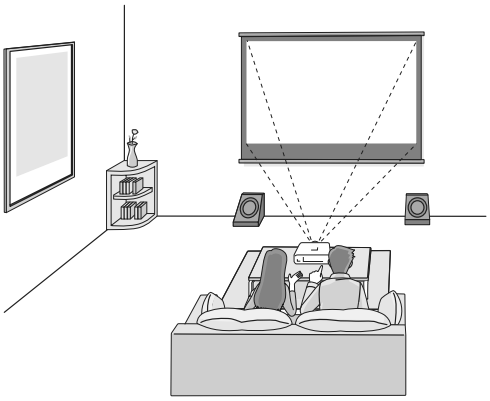
⚠ 警告

- 天井への取り付け（天吊り設置）工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

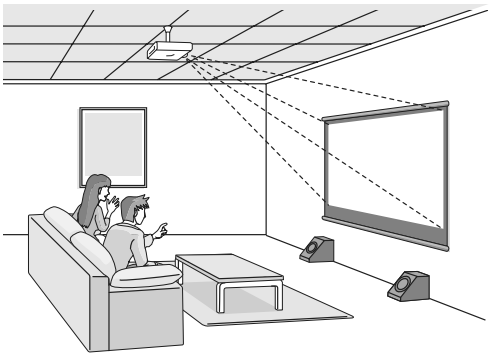
注意

エアフィルターは約3か月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。 ☛ p.69

机などに置いて投写する



天吊りして投写する



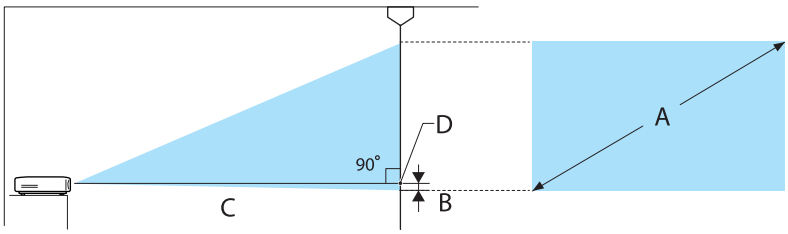
- 天吊りにして投写する場合は、［設置モード］を天吊りの設定に変更します。 ☛ ［設定］-［設置モード］ p.49
- 真正面に設置できない場合の台形ゆがみは、ヨコ補正スライダーで補正できます。 ☛ p.26
- 天吊りにして投写する場合など、ヨコ補正スライダーを使わずに画面を補正するときは、環境設定メニューの［タテ補正］、［ヨコ補正］で調整します。 ☛ ［設定］-［台形補正］-［タテヨコ］-［タテ補正］/［ヨコ補正］ p.49
  ［タテ補正］、［ヨコ補正］を使用するときは、［自動タテ補正］、［スライド式ヨコ補正］を［オフ］に設定してください。 ☛ ［設定］-［台形補正］-［自動タテ補正］/［スライド式ヨコ補正］ p.49

投写サイズを調整する

本機をスクリーンから離すほど、投写画面は大きくなります。

次の表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。値は目安です。

台形ゆがみを補正すると投写画面が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。



B　レンズの中心から、投写画面の下端までの距離

D　レンズの中心

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離（C）		距離（B）
A	W x H	最短（Wide）	最長（Tele）	
60型	130 x 75	162	195	-7
80型	180 x 100	217	261	-9
100型	220 x 120	272	327	-11
120型	270 x 150	327	393	-14
150型	330 x 190	410	492	-17
180型	440 x 250	492	592	-20

単位：cm

4:3 スクリーンサイズ		投写距離（C）		距離（B）
A	W x H	最短（Wide）	最長（Tele）	
40型	81 x 61	132	159	-6
60型	120 x 90	199	240	-8
80型	160 x 120	266	320	-11
100型	200 x 150	334	401	-14
120型	240 x 180	401	482	-17
150型	300 x 230	502	603	-21
200型	410 x 300	671	806	-28

機器と接続しよう

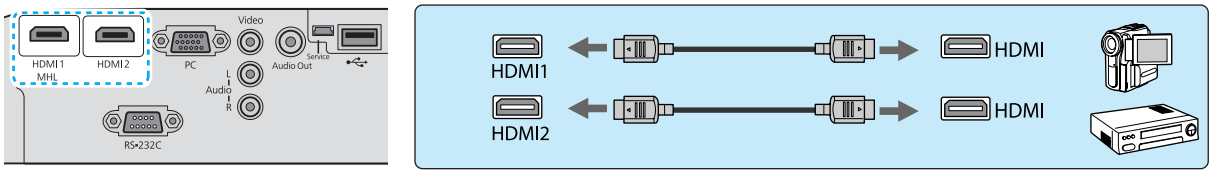
注意

- 接続機器のケーブルを本機に接続してから本機の電源コードを接続してください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと機器の破損や故障の原因になります。

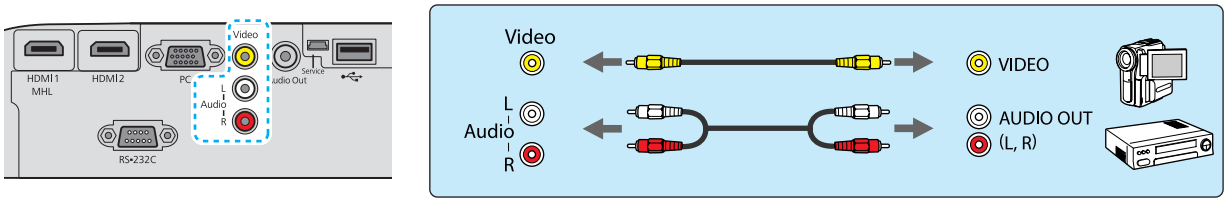
ビデオ機器との接続

DVDプレーヤーやビデオなどの映像を投写するには、次の方法で接続します。

HDMIケーブル（市販品）を使用するとき



ビデオケーブル（市販品）を使用するとき

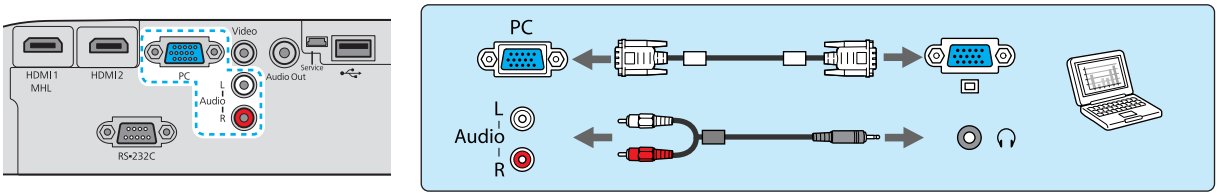


- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、何種類かの信号を出力できるものがあります。どの信号を出力できるかは、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

コンピューターとの接続

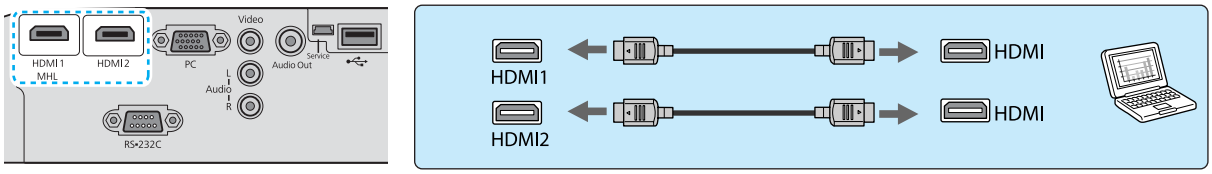
コンピューターの映像を投写するには、次の方法で接続します。

コンピューターケーブル（市販品）を使用するとき



音声の接続には2RCA↔ステレオミニプラグのオーディオケーブルの「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

HDMIケーブル（市販品）を使用するとき

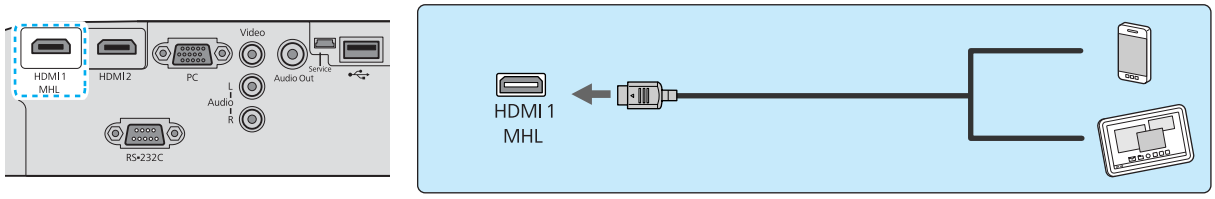


外部機器との接続

スマートフォン・タブレット端末の接続

MHL対応のスマートフォンやタブレット端末を接続できます。

MHLケーブル（市販品）で、スマートフォンまたはタブレット端末のmicroUSB端子と本機のHDMI1端子を接続します。



映像や音声を楽しみながら、スマートフォンやタブレット端末の充電もできます。

注意

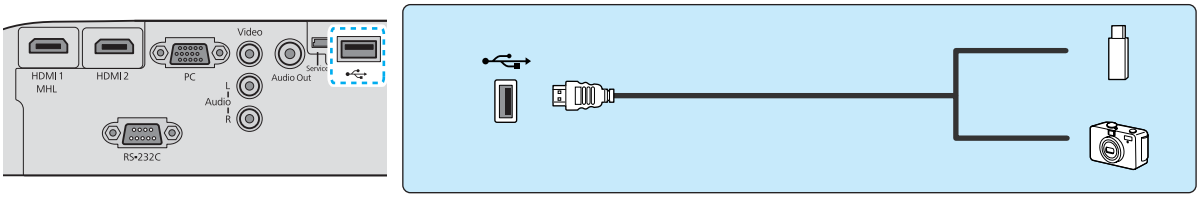
- 必ずMHLの規格に対応したケーブルで接続してください。場合によっては、充電時、スマートフォンやタブレット端末の発熱、液モレ、破裂など火災の原因になる場合があります。
- MHL-HDMI変換アダプタ（市販品）を使用して接続すると、充電や本機のリモコンからの操作ができない場合があります。

- お使いの機種によっては、動画を再生する場合など、供給される電力より使用する電力が大きくなり、充電されない場合があります。
- 本機がスタンバイ状態の場合や、スマートフォンやタブレット端末のバッテリー残量がない場合は充電はされません。

USB機器の接続

USBメモリー、USB対応のデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

USB機器に同梱のUSBケーブルで、USB機器と本機のUSB端子（TypeA）を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをスライドショーで再生します。 ☛ p.43

投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。電源スイッチがある機器は、USB機器の電源をオフにしてから取り外してください。

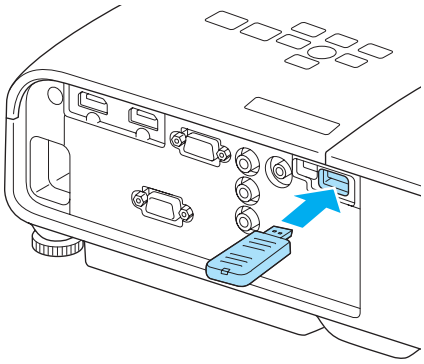
注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- デジタルカメラの接続には、各機器指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。

無線LANユニットの取り付け

無線LAN機能を使用する場合は、オプションの無線LANユニット（ELPAP07）を取り付けます。

無線LANユニットをUSB(TypeA)端子に挿し込みます。



無線LANで投写するには、以下のアプリケーションのダウンロードが必要になります。詳細はダウンロード先にてご確認ください。

- **コンピューターの画面をワイヤレスで投写**
  EasyMP Network Projectionを使って、ネットワーク経由でコンピューターの画面を投写します。

  EasyMP Network Projectionは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

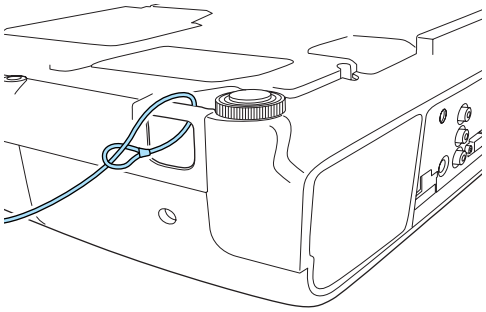
  http://www.epson.jp/download/
- **携帯端末の映像をネットワーク経由で投写**
  「Epson iProjection」をスマートフォンやタブレット端末にインストールすると、端末内のデータをワイヤレスで投写できます。スマートフォンやタブレット端末の映像を手軽に楽しめます。

  「Epson iProjection」は、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- 無線LANユニットを挿したままにしておく場合、無線LANを使用しないときは、［無線LAN電源］を［オフ］に設定してください。第三者からの不正アクセスを防ぐことができます。
  ☛ p.54
- ［かんたんモード］でEpson iProjectionやEasyMP Network Projectionを使うときは、セキュリティーの設定をすることをお勧めします。
  ☛ p.55

ワイヤーロックの取り付け

市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。
ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックの取扱説明書をご覧ください。



リモコンを準備しよう

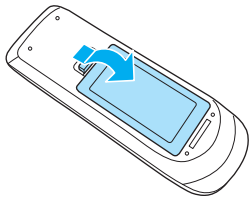
リモコンに電池をセットする

注意

- 電池ホルダー内の表示を確認し、（+）（−）を正しく入れてください。
- 単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

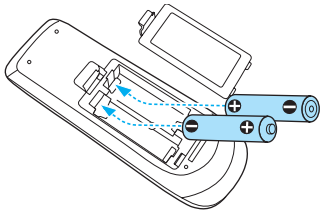
1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



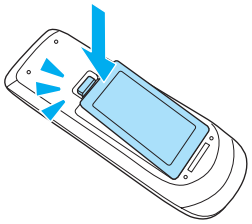
2 新しい電池と交換します。

（+）（−）の向きを確認して入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。

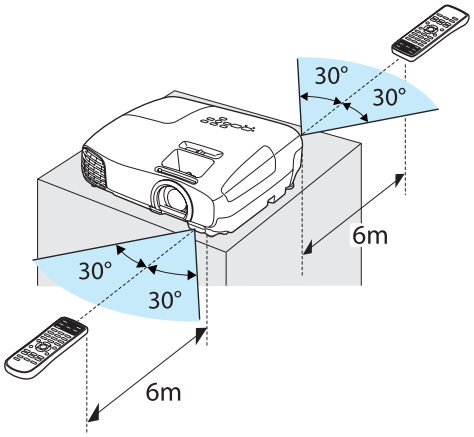
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



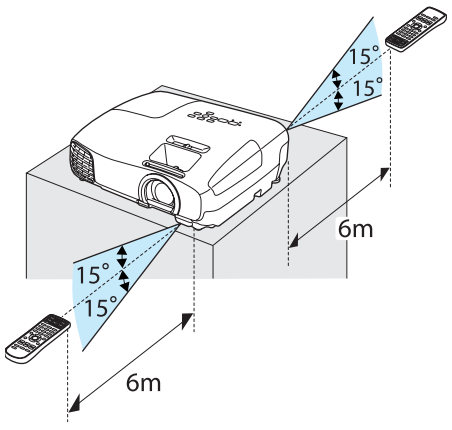
リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。

リモコンの操作範囲

操作可能範囲（左右）



操作可能範囲（上下）



投写と終了のしかた

電源を入れて投写する

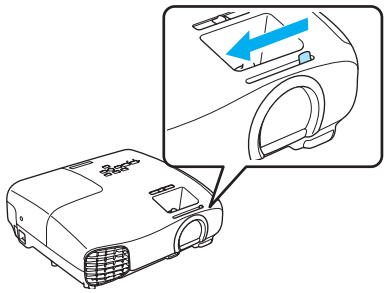
1 本機と接続機器を接続します。

2 電源コードを接続します。

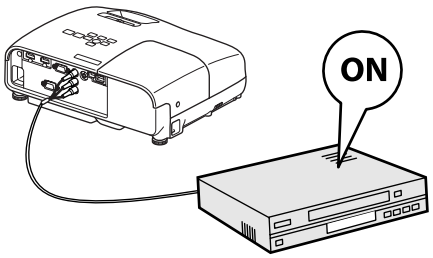
同梱の電源コードで接続します。

> 必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

3 レンズカバーを開けます。

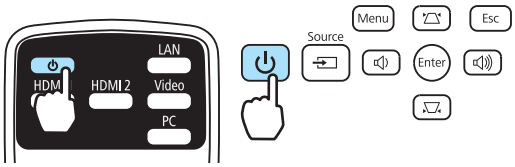


4 接続機器の電源を入れます。



5 電源を入れます。

リモコン　　操作パネル



> ［ダイレクトパワーオン］を［オン］にすると、ボタン操作をしなくても、本機に電源コードを接続するだけで投写を開始します。
> ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［ダイレクトパワーオン］ p.51

⚠ 警告

投写中はレンズをのぞかないでください。

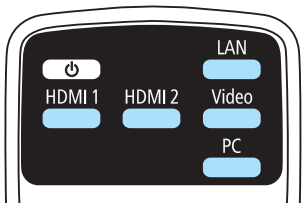
- 本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐチャイルドロック機能や、誤操作などを防ぐ操作ボタンロック機能があります。☛ ［設定］-［ロック設定］-［チャイルドロック］/［操作ボタンロック］ p.49
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず［高地モード］を［オン］にしてください。☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［高地モード］ p.51
- 本機には、接続しているコンピューター映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能があります。☛ ［映像］-［自動調整］ p.47

目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

リモコン

目的の入力端子のボタンを押します。



操作パネル

ボタンを押して目的の入力端子を選択します。

Enter ボタンを押すと決定します。

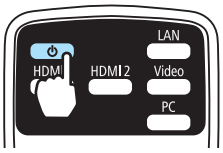
- ビデオ機器の場合は、再生状態にしてから入力ソースを切り替えてください。
- ［Video］や［PC］の入力ソースに切り替えて色が不自然になるときは、［入力信号］と接続した端子が同じかどうか確認してください。☛ ［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］/［PC信号入力方式］ p.51

電源の切り方

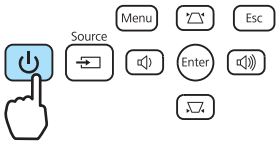
1 接続している機器の電源を切ります。

2 リモコンまたは本体操作パネルの ⏻ ボタンを押します。

リモコン

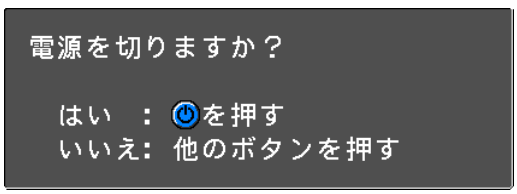


操作パネル



確認メッセージが表示されます。

3 もう一度、⏻ ボタンを押します。



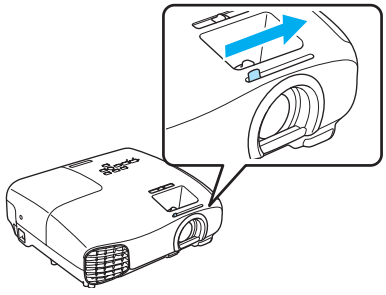
4 クールダウンが終了するのを待ちます。

本体操作パネルのオペレーションインジケーターの点滅が止まります。

5 電源コードを抜きます。

電源コードを接続している状態では、動作していなくても電力を消費しています。

6 レンズカバーを閉めます。

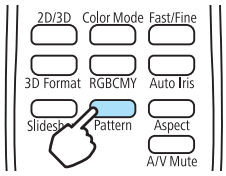


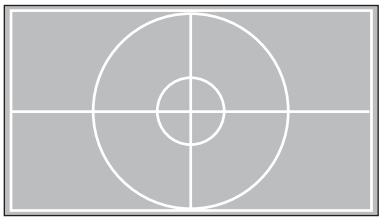
投写画面を調整しよう

テストパターン表示

映像機器を接続しなくても表示できるテストパターンは、設置直後、ズーム・フォーカス調整や投写位置の調整をするときに利用できます。

リモコンの Pattern ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。

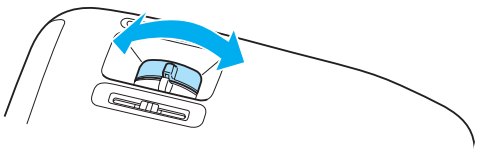




テストパターン表示を終了するには、もう一度 Pattern ボタンを押します。

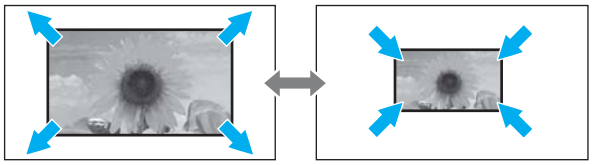
ピント調整（フォーカス調整）

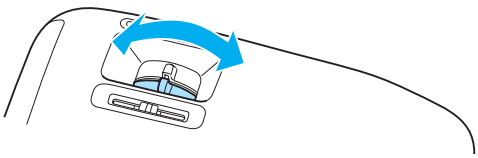
フォーカスリングを回してピントを調整します。



投写サイズの調整（ズーム調整）

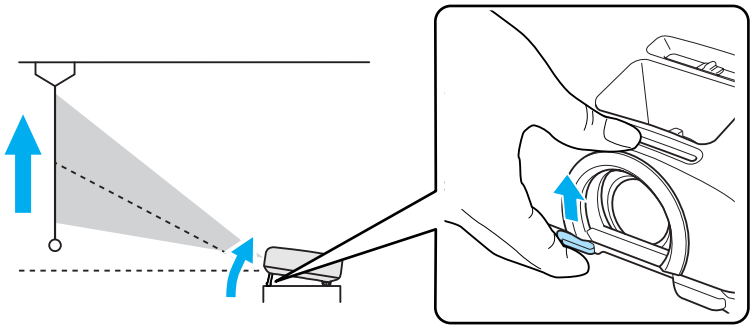
ズームリングを回して、投写画面の大きさを調整します。





映像の高さを調整する

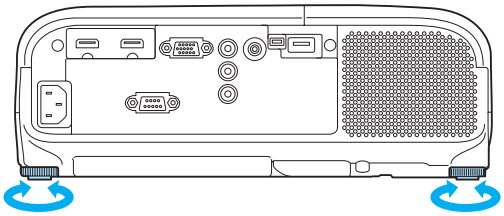
フットレバーを押して、フロントフットを伸ばします。最大12°まで傾けて、映像の高さを調整できます。



傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

本機の傾きを調整する

机上設置時に投写画面が水平方向に傾いている場合（左右で高さが違う場合）は、リアフットで本機が水平になるように調整します。



台形ゆがみを補正する

台形にゆがんだ投写画面を補正するには、次の方法があります。

自動で補正する	自動タテ補正	タテ方向の台形のゆがみを自動的に補正します。
手動で補正する	スライド式ヨコ補正	ヨコ方向の台形のゆがみをヨコ補正スライダーで補正します。
	タテヨコ補正	タテ方向とヨコ方向のゆがみを個別に補正します。

台形ゆがみを補正すると投写画面が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。

自動で補正する（自動タテ補正）

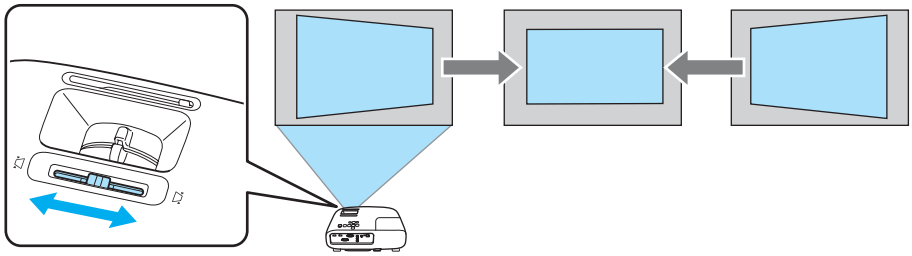
本機を設置したときなどプロジェクターが動きを感知すると、投写画面のタテ方向の台形ゆがみを自動的に補正します。プロジェクターが動きを感知してから約2秒間静止すると、調整用の画面が表示され、投写画面が補正されます。

自動タテ補正で投写画面を正しく補正できる範囲は、補正角度で上下約30°以下です。

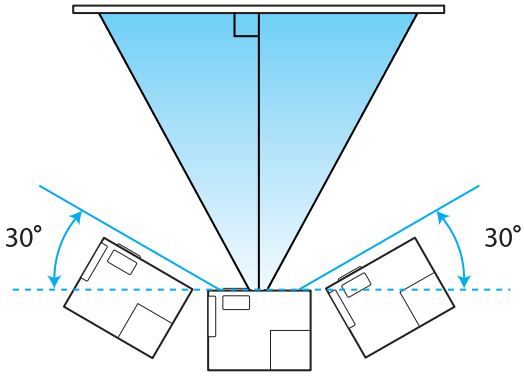
- 自動タテ補正が機能するのは、［設置モード］で［フロント］を選択しているときのみです。
  ☛ ［設定］-［設置モード］ p.49
- 自動タテ補正を機能させたくないときは、［自動タテ補正］を［オフ］に設定してください。
  ☛ ［設定］-［台形補正］-［自動タテ補正］ p.49

手動で補正する（スライド式ヨコ補正）

ヨコ補正スライダーを左右に移動させ、ヨコ方向の台形ゆがみを補正します。



正しく補正できる範囲は、補正角度で左右約30°以下です。



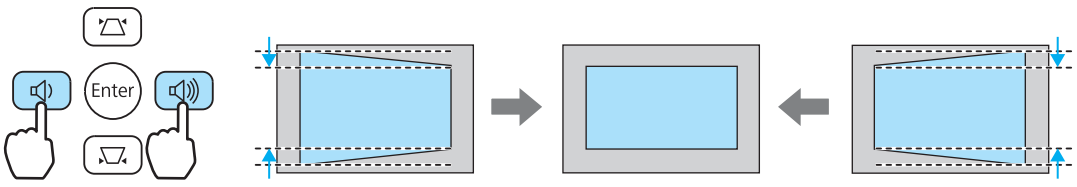
ヨコ補正スライダーを使用するときは、［スライド式ヨコ補正］を［オン］に設定してください。
☛ ［設定］-［台形補正］-［スライド式ヨコ補正］ p.49

手動で補正する（タテヨコ補正）

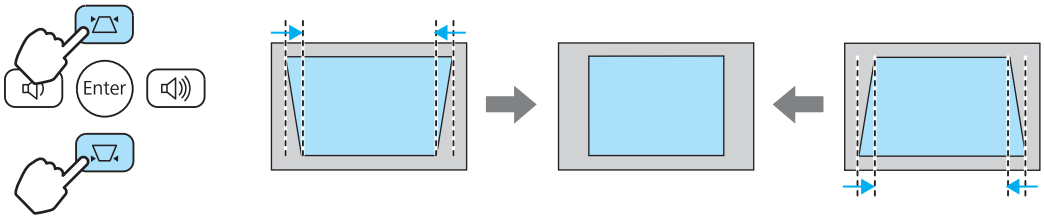
映像が台形にゆがんでいるときは操作パネルの ▽ △ ◁ ▷ ボタンで補正します。

▽ △ ボタンを押すと、タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されます。
ゲージが表示された状態で、▽ △ ボタンを押すと縦方向に、◁ ▷ ボタンを押すと横方向に補正します。

上下のどちらかが広いとき



左右のどちらかが広いとき

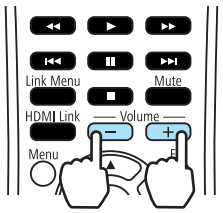


- タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されていない状態で ◁) (◁) ボタンを押すと音量調整の機能として動作します。 ☛ p.27
- タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。 ☛ ［設定］-［台形補正］-［タテヨコ］-［タテ補正］/［ヨコ補正］ p.49
- 出荷時の状態では、電源をオフするとタテヨコ補正値はリセットされます。設定値を維持したいときは［自動タテ補正］、［スライド式ヨコ補正］を［オフ］にしてから設定してください。 ☛ ［設定］-［台形補正］-［自動タテ補正］/［スライド式ヨコ補正］ p.49
- 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下左右約30°以下です。

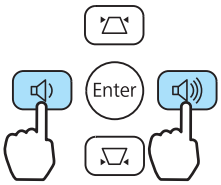
音量を調節する

音量はリモコンの Volume − + ボタンまたは本体操作パネルの ◁) (◁) ボタンで調整できます。

リモコン



操作パネル



- 音量の調節は、環境設定メニューからも設定できます。 ☛ ［設定］-［音量］ p.49
- 通常は、本機の内蔵スピーカーの音量を調整できますが、本機にAVアンプを接続した状態で、［HDMIリンク］を［オン］、［音声出力機器］を［AVアンプ］に設定している場合は、［HDMI1］/［HDMI2］の入力ソースを投写しているときにAVアンプの音量を調整できます。 ☛ p.41

⚠ 注意

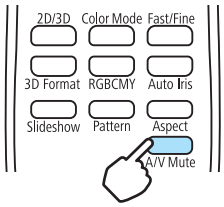
初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映像と音声を一時的に消す

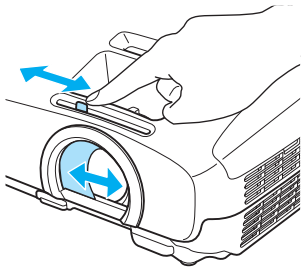
スクリーンの映像と音声を一時的に消したいときに使います。

A/V Mute ボタンを押す、またはレンズカバーを閉/開するたびに映像を消す/映すが切り替わります。音声も連動します。

リモコン



本体



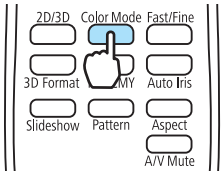
- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、遮断したときの場面からは再開できません。
- Mute ボタンでも音声を一時的に消す/再開するを切り替えられます。
- 通常は、本機の内蔵スピーカーの音声が連動しますが、本機にAVアンプを接続した状態で、［HDMIリンク］を［オン］、［音声出力機器］を［AVアンプ］に設定している場合は、［HDMI1］/［HDMI2］の入力ソースを投写しているときにAVアンプの音声が連動します。
☛ p.41

画質の調整をしよう

映り具合を選ぶ（カラーモード）

投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

1 Color Mode ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。☛ ［画質］-［カラーモード］ p.46

2 ［カラーモード］を選択します。

表示されるメニューから ▲ ▼ ボタンを押して［カラーモード］を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

2D映像投写時
［ダイナミック］、［リビング］、［ナチュラル］、［シネマ］が選択できます。
［3Dダイナミック］、［3Dシネマ］は、グレーアウトされて選択できません。

3D映像投写時
［3Dダイナミック］、［3Dシネマ］が選択できます。
［ダイナミック］、［リビング］、［ナチュラル］、［シネマ］は、グレーアウトされて選択できません。

2D映像投写時の選択肢

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に適しています。
リビング	明るい部屋での使用に適しています。鮮やかでメリハリのあるクリアな映像です。
ナチュラル	暗い部屋での使用に適しています。色調整は、このモードから行うことをお勧めします。☛ p.32
シネマ	暗い部屋で映画やコンサート映像を楽しむのに適しています。

3D映像投写時の選択肢

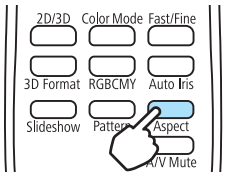
モード名	使い方
3Dダイナミック	3D映像を投写するときに使用します。3Dシネマよりメリハリのある明るい映像になります。
3Dシネマ	3D映像を投写するときに使用します。

画面をフルやズームに切り替える（アスペクト）

入力信号の種類、縦横比、解像度にあわせて投写画面の［アスペクト］を切り替えます。

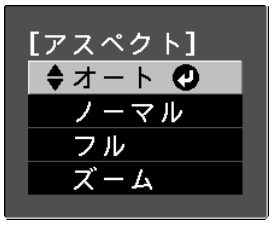
投写している映像の種類により選択できる［アスペクト］は異なります。

1 Aspect ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。☛［映像］-［アスペクト］ p.47

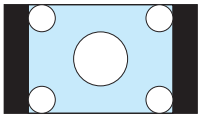
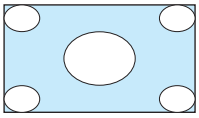
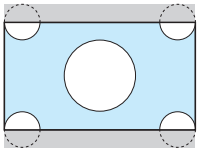
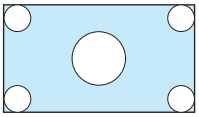
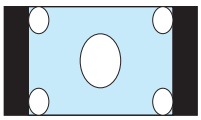
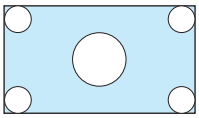
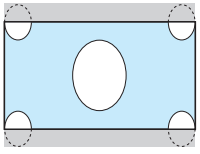
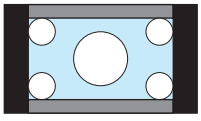
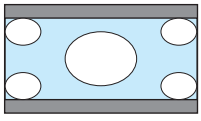
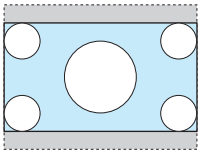
2 ◀▶ ボタンで設定名を選択し、Enter ボタンを押して決定します。



信号によって［アスペクト］が選択できない場合があります。

通常はオートに設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で表示したいときに切り替えてください。

下記の表は16:9のスクリーンに投写した場合のイメージです。

入力映像	設定名（アスペクト）		
	ノーマル	フル	ズーム
4:3の映像			
16:9の映像		16:9の映像を投写する場合、フル、ズームは選択できません。	
スクイーズ記録された映像			
レターボックスの映像 ※			

入力映像	設定名（アスペクト）		
	ノーマル	フル	ズーム
補足	投写パネルの縦サイズに合わせて表示します。入力映像により縦横比が異なります。	投写パネル全体を使って表示します。	入力信号の縦横比を維持して、投写パネルの横サイズに合わせて表示します。上下が切れる場合があります。

※ 説明に使用しているレターボックスのイメージは、16:9の映像の上下に字幕用に黒い帯が付加されて4:3の映像として表示される映像を例としています。画面イメージの上下の枠は字幕用の帯を示しています。

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

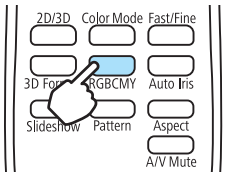
こだわりの色調整をしよう

色相・彩度・明度の調整

R（赤）G（緑）B（青）C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

色相	映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。

1 RGBCMY ボタンを押します。

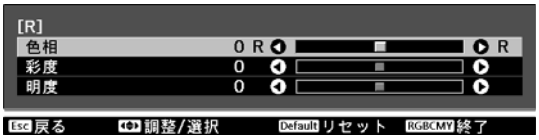


環境設定メニューからも設定できます。☛［画質］-［アドバンスト］-［RGBCMY］ p.46

2 ▲▼ ボタンで調整する色を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

3 ▲▼ ボタンで［色相］［彩度］［明度］のいずれかを選択します。

4 ◀▶ ボタンで調整します。



別の色を調整するときは、Esc ボタンを押します。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

5 RGBCMY ボタンを押してメニューを終了します。

RGBの調整（オフセット・ゲイン）

映像の明度を、R（赤）G（緑）B（青）についてそれぞれ、暗い部分（オフセット）と明るい部分（ゲイン）を調整します。＋側（右側）にすると明るく、－側（左側）にすると暗くなります。

オフセット	明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、暗い部分の濃淡がわからなくなります。
ゲイン	明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡がわからなくなります。暗くすると明るい部分の濃淡が表現されます。

次の順でメニューを表示します。
［画質］-［アドバンスト］-［RGB］

ボタンで項目を選択し、 ボタンで調整します。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

色温度

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

次の順でメニューを表示します。
［画質］-［色温度］

ボタンで調整します。
数値を大きくすると青みが強くなり、数値を小さくすると赤みが強くなります。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

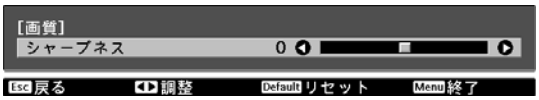
さらに画質を究めよう

シャープネスの調整

画像を強調します。

次の順でメニューを表示します。
［画質］-［シャープネス］

◀▶ ボタンで調整します。
数値を大きくするとくっきりとした映像になり、数値を小さくするとソフトな映像になります。



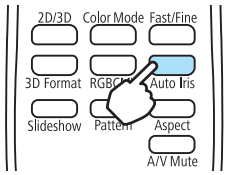
オートアイリス（自動絞り）の設定

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を、［標準］、［高速］から選択します。

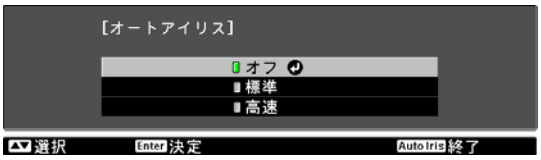
（映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。）

1 Auto Iris ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。☛［画質］-［オートアイリス］ p.46

2 ▲▼ ボタンで項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

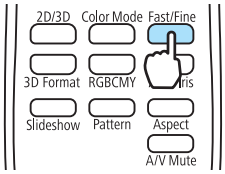


映像処理

ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。

Video/HDMI1/HDMI2入力端子からの信号入力時に有効です。

Fast/Fine ボタンを押すたびに［きれい］/［速い］が切り替わります。



- 3D映像には対応していません。
- ［映像処理］を［速い］に設定すると、［ノイズリダクション］がオフ固定になります。
- 環境設定メニューからも設定できます。☛［映像］-［映像処理］ p.47

3Dを楽しもう

3Dに設定する

3Dを視聴するには、入力ソースをHDMI1/HDMI2にします。

本機は、3Dフォーマットとして、次のフォーマットに対応しています。

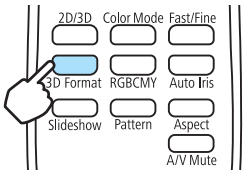
- フレームパッキング
- サイドバイサイド
- トップアンドボトム

本機が3Dフォーマットを判別できるとき

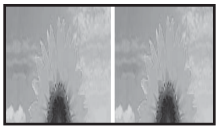
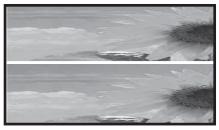
3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に映像を3Dで投写します。

本機が3Dフォーマットを判別できないとき

3Dテレビ放送によっては、3Dフォーマットを判別する信号が含まれていないことがあります。その場合は、3Dフォーマットを手動で設定してください。 3D Format ボタンを押して、AV機器側の3Dフォーマットを選択します。



- AV機器側の3Dフォーマットの設定については、AV機器の取扱説明書を参照してください。
- 3Dフォーマットが正しく設定されていないときは、以下のように映像が正しく表示されません。

3D映像が見えないときは

3Dフォーマットを設定しても、3D効果が正しく表示されない場合は、以下の項目を確認してください。

- メガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。［3Dメガネ左右反転］で反転して試してください。☛ ［映像］-［3D設定］-［3Dメガネ左右反転］ p.47
- ［3D表示］が［オフ］になっているときは3Dに切り替わりません。リモコンの 2D/3D ボタンを押してください。☛ ［映像］-［3D設定］-［3D表示］ p.47

- 3D効果の見え方には個人差があります。
- 3D表示になるときに視聴に関する注意が表示されます。この注意は［3D視聴上の注意］で［オフ］にすることもできます。☛ ［映像］-［3D設定］-［3D視聴上の注意］ p.47
- 3D投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。
  アスペクト（ノーマル固定）、ノイズリダクション（オフ固定）、オーバースキャン（オフ固定）
- 環境温度やランプ使用時間によっては3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。

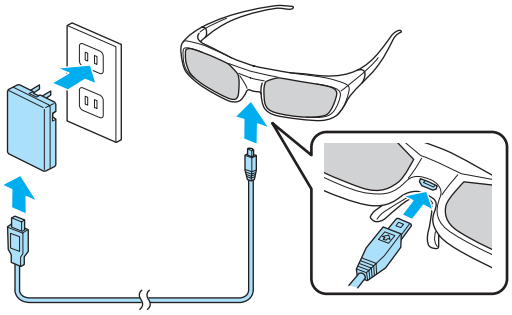
3Dメガネを使用する

3D映像は3Dメガネ（ELPGS03）をかけて視聴します。 ☛ p.75

3Dメガネは、開封直後は、保護シールなどが貼ってあります。保護シールをはがしてください。

3Dメガネを充電する

3DメガネをUSB充電ケーブルでUSB充電AC電源アダプターに接続し、USB充電AC電源アダプターをコンセントに差し込みます。



3DメガネをUSB充電ケーブルでプロジェクター背面のUSB端子（TypeA）に接続しても充電できます（プロジェクターの電源がオンのときのみ充電可能）。

注意

- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- USB充電ケーブルの取り扱いには以下の点に注意してください。
  - ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
  - ケーブルを加工しないでください。
  - 電熱器の近くに配線しないでください。
  - 破損したケーブルは使用しないでください。

3Dメガネをペアリングする

3D映像を実現するために、最初に3Dメガネと本機をペアリングする必要があります。

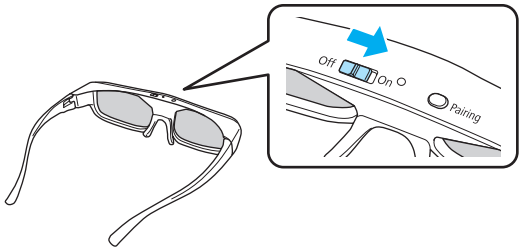
ペアリングは、3Dメガネの【Pairing】ボタン長押しで開始します。詳しい操作については、3Dメガネの取扱説明書を参照してください。

- 未使用の3Dメガネのときは、3Dメガネの電源投入時にペアリングされます。正しく3Dが視聴できるときは、ペアリングは必要ありません。
- 一度ペアリングを実施すれば、次回以降は電源を入れるだけで視聴できます。
- ペアリング可能範囲は、本機から3mです。ペアリング中は、本機から3m以上離れないでください。ペアリングに失敗します。
- 30秒以上、同期できない場合は、自動的にペアリングを終了します。このとき、ペアリングは失敗となるため、3D映像は視聴できません。

3Dメガネの装着

1 【電源】スイッチをOn側にスライドさせ、3Dメガネの電源を入れます。

インジケーターが数秒点灯し、消えます。



2 3Dメガネを装着し、視聴します。

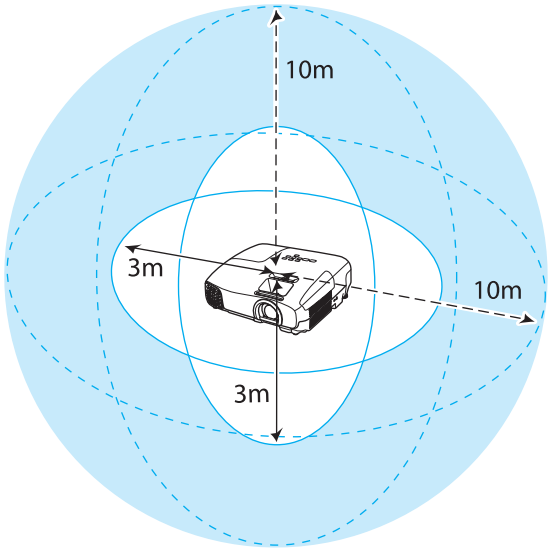
- 使い終わった後は【電源】スイッチをOff側にスライドさせ、電源を切ります。
- 3Dメガネは、30秒以上使用しないまま放置すると、自動的に電源が切れます。電源を再投入するときは、一度、【電源】スイッチをOff側にスライドさせた後、On側にスライドさせます。

3D映像を見る範囲

本機は、次の図の視聴範囲で3D映像をお楽しみいただけます。

プロジェクターから10mの範囲で3D映像をお楽しみいただけます。

ペアリングの距離は3mです。



- 他のBluetooth通信機器の影響があると、正しい3D映像が見られないことがあります。同時には使用しないでください。
- 3Dメガネの通信方式は無線LAN（IEEE802.11b/g）や電子レンジと同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。
- 本機の3Dメガネは、Full HD 3D Glasses Initiative™規格に準拠した、アクティブシャッター方式の3Dメガネです。

3D映像視聴に関する注意

3D映像を視聴するときは、次のことに注意してください。

⚠ 警告

分解改造について

- 3Dメガネを分解したり改造しないでください。
  火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

保管場所について

- 3Dメガネや同梱部品は、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
  誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

無線（Bluetooth）について

- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤動作の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

加熱について

- 3Dメガネを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしないでください。本製品にはリチウム充電池を内蔵しているため、発火・破裂によるやけどや火災の原因になります。

充電について

- 充電時は、当社で指定のUSB端子に付属の充電ケーブルを接続してご使用ください。他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- 付属の充電ケーブルは3Dメガネの充電用途以外に使用しないでください。発熱・発火・故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

3Dメガネについて

- 3Dメガネを落としたり、力を加えたりしないでください。
  ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。保管時はソフトケースに収納してください。
- 3Dメガネを装着する際は、フレームの先端にご注意ください。
  目などをついてけがの原因になることがあります。
- 3Dメガネの可動部（ヒンジ部など）に指を挟まないようにしてください。
  けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

3Dメガネの使用について

- 3Dメガネは正しく装着してください。
  3Dメガネを上下逆に装着しないでください。
  右目と左目に映像が正しく表示されずに不快に感じたりすることがあります。
- 3D映像をご覧になる以外には使用しないでください。
- 3D映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えない場合は、3D機能のご使用をお控えください。
  そのまま使用すると体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネに異常・故障が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
  そのまま使用するとけがや体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネを装着し耳、鼻やこめかみが赤くなったり、痛みやかゆみを感じたら使用を中止してください。
  そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネの装着により、肌に異常を感じたら使用を中止してください。
  ごく稀に塗料や材質によりアレルギーの原因になることがあります。

⚠ 注意

視聴時間について

- 3D映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。
  長時間の視聴による目の疲れなどの原因となることがあります。
  休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

⚠ 注意

視聴方法について

- 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。
  そのまま使用しますと体調不良の原因となることがあります。
- 3D映像の視聴中は必ず3Dメガネを装着し、裸眼で3D映像を視聴しないでください。
  体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。
  実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。
- 3Dメガネは3D映像視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないようにしてください。
  周りが暗くなり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- スクリーンと（おおむね）水平な状態で視聴してください。
  傾いた状態で視聴を続けると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因となることがあります。
- 蛍光灯やLED照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついてみえることがあります。その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの3倍以上の視距離で視聴してください。
  推奨距離は、画面80インチの場合3.0m以上、画面100インチの場合3.6m以上です。
  推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

⚠ 注意

視聴者について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しないでください。症状悪化の原因になることがあります。

⚠ 注意

視聴年齢について（お子様への注意）

- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。

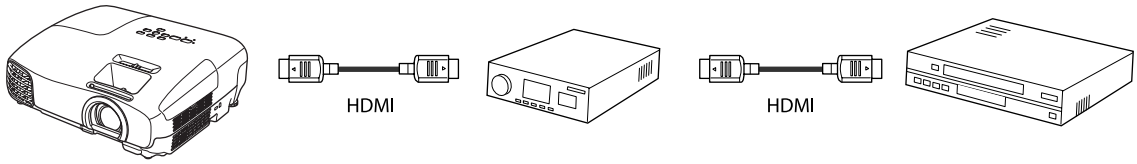
HDMIリンクで操作しよう

HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、電源オン連動やAVアンプの音量調整など連携動作がひとつのリモコンで操作できます。

- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

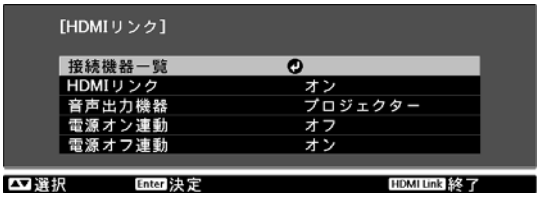
接続例



本機　　アンプ　　プレイヤーなど

HDMIリンク設定

リモコンの HDMI Link ボタンを押し、[HDMIリンク]を[オン]にすると、次の機能が操作できます。



機能	説明
電源オン連動	接続機器側の電源オンやコンテンツ再生に連動して、本機の電源が入ります。または、本機の電源オンに連動して、接続機器の電源が入ります。
電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切れます。 • 接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効。 • 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。
音声出力機器	AVアンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声を出力するか、AVアンプのスピーカーから音声を出力するかを設定できます。
入力切替連動	接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力ソースがHDMIに切り替わります。
接続機器操作	再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止などの操作が本機のリモコンで操作できます。

HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

接続機器一覧

HDMIリンクで利用可能な接続機器を確認し、映像を表示したい機器を選択できます。合わせてHDMIリンクで操作できる機器も切り替わります。

1 HDMI Link ボタンを押し、[接続機器一覧]を選択します。

[接続機器一覧]が表示されます。

左側のマークが緑色になっている機器がリンクされています。

機器名が取得できない場合は空欄になります。

2 HDMIリンクで操作したい機器を選択します。

- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。
- HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

写真データの再生（スライドショー）

再生できるデータ

本機のUSB端子に接続したUSBメモリーやデジタルカメラなどのUSBストレージデバイスに保存されている次のファイルを再生できます。

スライドショーで再生できるファイルの仕様

ファイルタイプ（拡張子）	備考
.jpg	• CMYKカラーモード形式のものは投写できません。 • プログレッシブ形式のものは投写できません。 • 解像度が8192 x 8192を超えるものは投写できません。 • JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。

スライドショーの実行

1 USBストレージデバイスを接続します。

ファイルのサムネイルが表示されます。

フォルダーを開くときは、フォルダーを選択して Enter ボタンを押します。

ファイルのサムネイルが表示されないときは、リモコンの Slideshow ボタンを押して入力ソースを切り替えます。

2 ［スライドショー］を選択します。

▲▼◀▶ ボタンで右下の［スライドショー］を選択して Enter ボタンを押します。

スライドショーが始まります。

- スライドショーを終了するときは、USBストレージデバイスを取り外します。
- サムネイル表示のときに写真を1枚選択して Enter ボタンを押すと、選択した1枚を拡大して表示します。
  1枚を拡大して表示している画面でリモコンの ◀▶ ボタンを押すと、画像を切り替えます。
  また、▲▼ ボタンで画像を回転できます。

画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

1 ボタンを押して、表示条件を設定するフォルダーにカーソルを合わせ Esc ボタンを押します。表示されたサブメニューから［オプション］を選択して Enter ボタンを押します。

2 オプション画面が表示されますので、各項目を設定します。

変更したい項目の設定にカーソルを合わせて Enter ボタンを押すと、設定が有効になります。
各項目の詳細は次の表のとおりです。

表示順序設定	表示するファイルの順序を、［ファイル名順］、［更新日付順］から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、［昇順］、［降順］から選択します。
繰り返し再生	繰り返し再生を実行するかを設定します。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。［なし］（0）～60秒までの設定ができます。［なし］に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

3 ボタンを押して［OK］にカーソルを合わせて、 Enter ボタンを押します。

設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、［キャンセル］にカーソルを合わせて、 Enter ボタンを押します。

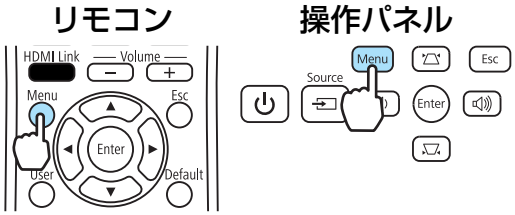
環境設定メニューの機能

環境設定メニューの操作

環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。

1 Menu ボタンを押します。

リモコン　　操作パネル



環境設定メニューが表示されます。

2 ▲▼ ボタンで左側のトップメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します。

左側のトップメニューを選択すると、右側のサブメニューが切り換わります。

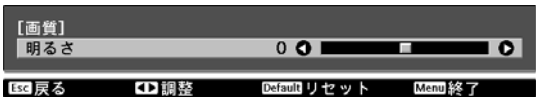
下の1行は操作ガイドです。

3 ▲▼ ボタンで右側のサブメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します

選択した機能の調整画面が表示されます。

4 ▲▼◀▶ ボタンで設定値を調整します。

例）調整バー



例）選択肢

↵ が表示されている項目で Enter ボタンを押すと、その項目の選択画面に移行します。

一階層戻るときは Esc ボタンを押します。

5 Menu ボタンを押してメニューを終了します。

明るさなど調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに Default ボタンを押すと調整値が初期値に戻ります。

環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの画質と映像の項目は調整できません。また、画質、映像、情報は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

画質メニュー

機能	メニュー/設定値			説明
カラーモード	ダイナミック、リビング、ナチュラル、シネマ、3Dダイナミック、3Dシネマ			投写する環境や映像に合わせて、色調整を選択します。 ☛ p.29
明るさ	◀■■▶			映像が暗く感じるときに調整します。
コントラスト	◀■■▶			映像の明暗の差を調整します。コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。
色の濃さ※	◀■■▶			映像の色の濃さを調整します。
色合い※	◀■■▶			映像の色合いを調整します。
シャープネス	◀■■▶			映像のシャープ感を調整します。
色温度	◀■■▶			映像全体の色合いを調整します。高い値にすると青みがかった映像になり、低い値にすると赤みを帯びた映像になります。
アドバンスト	RGB	オフセット R/G/B	◀■■▶	R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。 ☛ p.32
		ゲイン R/G/B	◀■■▶	
	RGBCMY	R/G/B/C/M/Y	色相、彩度、明度 ◀■■▶	R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。 ☛ p.32
	EPSON Super White		オン、オフ	([カラーモード]が[ナチュラル]/[シネマ]/[3Dシネマ]の場合で、HDMI1/HDMI2入力端子からの信号入力時のみ設定可能) 白の部分が明るく白とびしているときは、[オン]に設定します。[オン]に設定している場合は、[HDMIビデオレベル]での設定は無効になります。
明るさ切替	高、低			ランプの明るさを2段階で切り替えます。 投写映像が明るすぎるときは[低]に設定します。[低]で使用すると投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。

機能	メニュー/設定値	説明
オートアイリス	オフ、標準、高速	映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を設定します。[オフ]にすると光量調整は行いません。☛ p.34
初期化	はい、いいえ	[画質]のすべての調整値を初期値に戻します。

※ コンピューター映像信号入力時は表示されません。

映像メニュー

USB映像信号入力時には映像メニューのサブ項目は表示しません。

機能	メニュー/設定値		説明
3D設定※1	3D表示	オン、オフ	3D表示の有効/無効を切り替えます。☛ p.35
	3D方式設定	オート、サイドバイサイド、トップアンドボトム、2D	入力信号の3D方式を設定します。[オート]にすると自動的に選択します。
	3D奥行き調整	-10～10	3D映像の奥行き感を設定します。
	映像サイズ	60～300	3D映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な3D効果になります。
	3D明るさ調整	低、中、高	3D映像の明るさを設定します。
	3Dメガネ左右反転	はい、いいえ	3Dメガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で3Dの効果が正しく表示されない場合に設定します。
	3D視聴上の注意	オン、オフ	3D視聴に関する注意を表示するかどうかを切り替えます。
アスペクト※2	オート、ノーマル、フル、ズーム		アスペクトモードを選択します。☛ p.30
トラッキング※2 ※3	入力信号によって異なります。		映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期※2 ※3	0～31		映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 • ちらつき、ぼやけは、[明るさ]/[コントラスト]/[シャープネス]の調整で発生することもあります。 • トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。
表示位置※2 ※4			映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像の投写範囲を調整します。
自動調整※3	オン、オフ		入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整するかどうかを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。

機能	メニュー/設定値	説明
ノイズリダクション※2 ※5	オフ、1、2、3	([映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能) 映像のざらつきを抑えます。モードを3つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは [オフ] に設定してご覧ください。
オーバースキャン※1 ※2	オート、オフ、2%、4%、6%、8%	出画率（投写する映像の範囲）を変更できます。 • [オフ]、[2%] ～ [8%]：映像の範囲を設定します。[オフ] はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 • [オート]：HDMI1/HDMI2入力端子からの信号入力時のみ表示されます。入力信号によって自動的に [オフ] または [8%] に設定されます。
HDMIビデオレベル※1 ※2	オート、通常、拡張	([EPSON Super White] が [オフ] の場合のみ設定可能) [オート] に設定すると、本機のHDMI1/HDMI2入力端子へのDVD入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。 [オート] に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVDプレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVDプレイヤー側の設定では、Normal（通常）、Expand（拡張）となっていることがあります。 接続機器のDVI端子と接続しているときは [オート] が表示されません。
映像処理	きれい、速い	画質を向上させる処理をします。 ☛ p.34
初期化	はい、いいえ	[映像] のうち、[映像サイズ]、[3D視聴上の注意]、[アスペクト]、[映像処理] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

※1 HDMI1/HDMI2映像信号入力時のみ表示されます。
※2 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。
※3 PC映像信号入力時のみ表示されます。
※4 HDMI1/HDMI2映像信号入力時は設定できません。
※5 PC映像信号入力時は表示されません。
※6 Video映像信号入力時は表示されません。

設定メニュー

機能	メニュー/設定値			説明
台形補正	タテヨコ	タテ補正	-60～60	タテ方向の台形ゆがみを補正します。 ☛ p.26
		ヨコ補正	-60～60	ヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 ☛ p.26
	自動タテ補正	オン、オフ		[自動タテ補正]の有効/無効を切り替えます。 ☛ p.25
	スライド式ヨコ補正	オン、オフ		[スライド式ヨコ補正]の有効/無効を切り替えます。 ☛ p.26
音量	0～10			音量を調整します。
HDMIリンク	接続機器一覧	-		HDMI1/HDMI2入力端子で接続している機器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	オン、オフ		HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えます。
	音声出力機器	プロジェクター、AVアンプ		AVアンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声を出力するか、AVアンプのスピーカーから音声を出力するかを設定します。
	電源オン連動	オフ、双方向、接続機器→PJ、PJ→接続機器		電源オンの連動機能を設定します。 接続機器側でのコンテンツ再生に連動して、本機の電源が入る（双方向、接続機器→PJ）や、本機の電源オンに連動して、接続機器の電源が入る（双方向、PJ→接続機器）ように設定します。
	電源オフ連動	オン、オフ		本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切るかどうかを設定します。

機能	メニュー/設定値		説明
ロック設定	チャイルドロック	オン、オフ	お子様が、誤って電源を入れないように、操作パネルの ⏻ ボタンでの電源オンをロックします。ロック時は、 ⏻ ボタンを約3秒間押し続けると電源が入ります。 ⏻ ボタンでの電源オフやリモコンでの操作は通常どおり行えます。 設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。 [チャイルドロック] を [オン] に設定しても、[ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは本機に電源コードを接続するだけで投写が開始されますので、注意してください。
	操作ボタンロック	オン、オフ	[オン] にすると本体操作パネルの ⏻ ボタン以外のボタン操作が無効になり、ボタン操作を行うと画面上に 🔒 が表示されます。解除するには、本体操作パネルの Enter ボタンを約7秒以上押します。 設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。
設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り		本機の設置状態に応じて設定します。 • [フロント]：スクリーン正面から投写する場合に選択します。 • [フロント・天吊り]：天吊りでスクリーン正面から投写する場合に選択します。 • [リア]：リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。 • [リア・天吊り]：天吊りでリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。
ユーザーボタン	3D方式設定、3D奥行き調整、3D明るさ調整、3Dメガネ左右反転、明るさ切替、情報		リモコンの User ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。 User ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。

機能	メニュー/設定値	説明
初期化	はい、いいえ	［設定］のうち、［音声出力機器］、［電源オン連動］、［電源オフ連動］、［設置モード］、［ユーザーボタン］以外のすべての調整値を初期値に戻します。

拡張設定メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
動作設定	ダイレクトパワーオン	オン、オフ	本機に電源コードを接続するだけで、ボタン操作なしに投写できるよう設定できます。［オン］に設定しているときは、停電復旧時などに、電源コードが接続されていると、投写が開始されますので注意してください。
	スリープモード	オフ、5分、10分、30分	信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。［オフ］にした場合はスリープモードは働きません。スタンバイ状態になっているときは、リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押すと投写を再開します。
	イルミネーション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネルのインジケーターの点灯が気になるときは、本設定を［オフ］にします。
	高地モード	オン、オフ	標高約1500m以上でお使いの場合は［オン］にします。
表示設定	メッセージ表示	オン、オフ	次のメッセージ表示をする（オン）/しない（オフ）を設定します。 • 映像信号やカラーモード、アスペクトの項目名表示 • 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時
	背景表示	黒、青、ロゴ	映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。
	スタートアップスクリーン	オン、オフ	スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。
	型番表示モード	オン、オフ	プロジェクターの型番を表示します。

機能	メニュー/設定値		説明
入力信号	ビデオ信号方式	オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM	Video入力端子に接続しているビデオ機器に応じて信号方式を設定します。[オート]にすると、自動的にビデオ信号を設定します。[オート]にしていても映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。
	PC信号入力方式	オート、RGB、コンポーネント	PC入力端子に接続しているビデオ機器の出力信号に応じて選択します。 [オート]にすると、自動的に設定します。 [オート]にしていて色が不自然な場合は、適切な信号を選択してください。
言語	-		表示する言語を選択します。
初期化	はい、いいえ		[拡張設定]のうち、[高地モード]、[PC信号入力方式]、[言語]以外のすべての調整値を初期値に戻します。

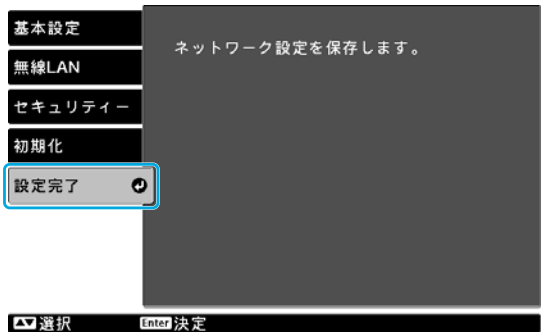
ネットワークメニュー

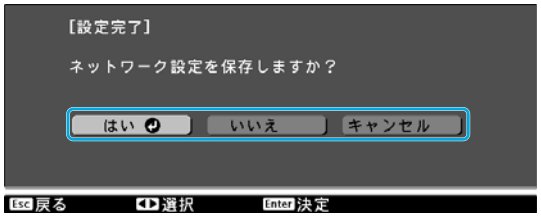
機能	説明
ネットワーク情報－無線LAN	以下のネットワークの設定状況を表示します。 • 接続モード • 無線LAN方式 • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード※
ネットワーク設定画面へ	ネットワークの設定メニューへ移行します。☛ p.53

※ お使いの無線LANユニットの、利用可能な地域情報を表示します。詳細は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☛ 『お問い合わせ先』

ネットワークメニュー操作上のご注意

基本的な操作は環境設定メニューと同様に行います。
ただし、終了する際には必ず［設定完了］メニューを選択し、設定を保存してください。





［はい］： 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
［いいえ］： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
［キャンセル］： ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定するときに、ソフトキーボードが表示されます。
リモコンの ボタンまたは操作パネルの ボタンでキーを選択し、Enter ボタンを押して入力します。［Finish］を選択すると入力が確定し、［Cancel］を選択すると入力は取り消されます。

［CAPS］キー： アルファベットキーの大文字/小文字を切り替えます。
［SYM1/2］キー： 記号キーを切り替えます。

基本設定メニュー

機能	説明
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示します。 変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。

無線LANメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
無線LAN電源	オン、オフ	無線LANを使用する（オン）/しない（オフ）を設定します。 [オフ]に設定すると他人からの不正なアクセス等を防ぐことができます。
接続モード	かんたんモード、マニュアルモード	無線LANの接続方法を設定します。 [かんたんモード]：プロジェクターがアクセスポイントとなり、コンピューターやスマートフォンを直接プロジェクターと接続します。 [マニュアルモード]：すでに無線LAN環境がある場合、設置されているアクセスポイントにプロジェクターを接続します。
チャンネル設定	1ch、6ch、11ch	([接続モード]が[かんたんモード]の場合のみ設定可能) 無線LANで使用する周波数の帯域を選択します。
SSID	-	([接続モード]が[マニュアルモード]の場合のみ設定可能) SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。
アクセスポイント検索	-	([接続モード]が[マニュアルモード]の場合のみ設定可能) は現在接続中のアクセスポイントを表します。 はセキュリティーが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティーが設定されているアクセスポイントを選択するとセキュリティーメニューに移行します。 ☛ p.55
IP設定 ([接続モード]が[マニュアルモード]の場合のみ設定可能)	DHCP	DHCPを使用する（オン）/しない（オフ）を設定します。[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
	IPアドレス	本機のIPアドレスを入力します。 以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。 以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
	ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
SSID表示	オン、オフ	LAN待機画面上にSSIDを表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。

機能	メニュー/設定値	説明
IPアドレス表示	オン、オフ	LAN待機画面上にIPアドレスを表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。

セキュリティーメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
セキュリティー	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	セキュリティーを設定します。 ［かんたんモード］時は［WPA2-PSK］、［マニュアルモード］時は［WPA/WPA2-PSK］が選択できます。
パスフレーズ	-	パスフレーズを入力します。 パスフレーズは半角英数字で8文字以上、最大32文字まで入力でき、大文字小文字は区別されます。 セキュリティーを確保するために、定期的に変更することをお勧めします。

初期化メニュー

機能	説明
ネットワーク設定を初期化します。	［ネットワーク］のすべての調整値を初期値に戻します。

情報メニュー

機能	説明
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示します。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示します。
入力信号	［拡張設定］メニューの［入力信号］の設定内容を入力ソースに応じて表示します。
入力解像度	入力解像度を表示します。
走査方式	走査方式を表示します。
リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。
3D方式	3D映像投写時に入力されている信号の3D方式（フレームパッキング/サイドバイサイド/トップアンドボトム）を表示します。
同期情報	映像信号の情報を表示します。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
Deep Color	Deep Colorを表示します。
ビデオ信号方式	［拡張設定］メニューの［ビデオ信号方式］の設定内容を表示します。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
バージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。 ☛ p.68

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

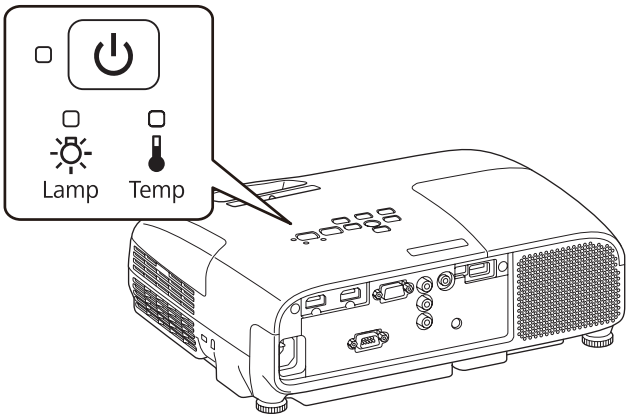
初期化メニュー

機能	説明
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [PC信号入力方式]、[ランプ点灯時間]、[言語]と[ネットワーク]メニューのすべての調整値は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積を[0 H]に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。

故障かなと思ったら

インジケーターの見方

本機の状態は、操作パネルの ⏻ 、 ▢ （オペレーションインジケーター）、🌡、☼の点灯や点滅で確認できます。

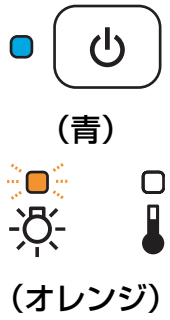
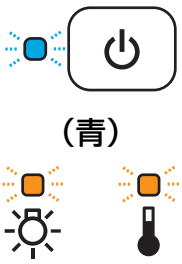
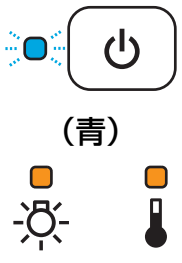


次の表でインジケーターの状態と対処方法を確認してください。

異常/警告時のインジケーターの状態

☼▢: 点滅　▢: 点灯　⛁: 状態維持　▢: 消灯

インジケーター	状態	対処方法
⛁ ⏻（青） ☼ 🌡（オレンジ）	ランプ交換勧告	ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換してください。 ☛ p.72 このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。
⛁ ⏻（青） ☼ 🌡（オレンジ）	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 • 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ☛ p.69

インジケーター	状態	対処方法
	内部異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』
	ファン異常 センサー異常	
	オートアイリス異常	
	電源系異常(バラスト)	
	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放状態	ランプに異常があるか、点灯に失敗しました。 • 電源コードを抜いてからランプが割れていないか確認します。 ☛ p.72 ランプが割れていなければ、ランプを再セットし、本機の電源を入れます。 ランプを再セットしても直らないときやランプが割れているときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』 • ランプカバーがきちんと閉まっているか確認してください。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ☛ p.69 • 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず［高地モード］を［オン］にしてください。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［高地モード］ p.51

インジケーター	状態	対処方法
 （青） （オレンジ）	**内部高温異常（オーバーヒート）**	内部が高温になっています。 • ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態で待ちます。ファンが停止したら、電源コードを抜きます。 • 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ☛ p.69 • 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』

正常動作時のインジケーターの状態

: 点滅　: 点灯　: 消灯

インジケーター	状態	対処方法
 （青）	**スタンバイ状態**	リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押すと、しばらくして投写を開始します。
 （青）	**ウォームアップ中**	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
	クールダウン中	クールダウン中はすべての操作は無効になります。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万一、クールダウン中に電源コードを抜いたときは、ランプが十分に冷えてから（約10分必要）、再び電源コードを接続し、リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押してください。
 （青）	**投写中**	通常動作中です。

- 正常動作時は と インジケーターは消灯しています。
- ［イルミネーション］機能が［オフ］の場合は正常な投写中にインジケーターがすべて消灯しています。 ☛ ［拡張設定］-［動作設定］-［イルミネーション］ p.51

インジケーターを確認してもわからないとき

現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

現象		ページ
映像に関するトラブル	映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...	p.60
	コンピューターで再生する動画が表示されない	p.61
	「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	p.61
	「映像信号が入力されていません。」と表示される	p.62
	ぼやける、ピントが合わない	p.62
	ノイズが入る・乱れるなど...	p.63
	切れる（大きい）、小さい、映像の一部分しか投写されないなど...	p.63
	色合いが違う 赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... ※	p.64
	暗い	p.64
	自動的に投写が消える	p.64
投写開始時のトラブル	電源が入らない	p.65
リモコンでのトラブル	リモコンで操作できない	p.65
3Dでのトラブル	3Dで正しく投写できない	p.65
	3D映像が引き伸ばされた状態で切れる	p.66
HDMIのトラブル	HDMIリンクで操作できない	p.66
	接続機器一覧に機器名が表示されない	p.67
USBストレージデバイスのトラブル	スライドショーが開始されない	p.67
その他のトラブル	音が出ない、小さい	p.67
	本体パネルで操作できない	p.67
	無線LANでネットワーク接続ができない	p.67

※ コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押します。
電源コードを接続していますか？	電源コードを接続してください。

確認	対処法
インジケーターがすべて消灯していませんか？	本機の電源コードを抜いて、接続し直します。 接続後、電源ボタンを押して電気が供給されているか確認します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの［メッセージ表示］を［オン］に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。☛［拡張設定］-［表示設定］-［メッセージ表示］ p.51
映像の信号形式の設定は合っていますか？	Video入力時 環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.51
	PC入力時 環境設定メニューの［PC信号入力方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［PC信号入力方式］ p.51
環境設定メニューの設定が間違っていませんか？	全初期化してみてください。☛［初期化］-［全初期化］ p.56
（コンピューター映像信号投写時のみ） 接続の作業を、本機やコンピューターの電源が入っている状態で行いましたか？	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるキー（ファンクションキーなど）が使えないことがあります。接続しているコンピューターと本機の電源を入れ直してください。

動画が表示されない

確認	対処法
（コンピューター映像信号投写時のみ） コンピューターの映像信号が外部と液晶モニター両方同時に出力されるように設定されていませんか？	コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに同時表示させると動画が表示されないことがあります。 映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。 コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	Video入力時 環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.51
	PC入力時 環境設定メニューの［PC信号入力方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［PC信号入力方式］ p.51

確認	対処法
（コンピューター映像信号投写時のみ） 映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？	環境設定メニューの［入力解像度］で入力中の映像信号を確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。☛ p.76

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.17
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの各入力ソースのボタンか操作パネルの ⏎ ボタンで映像を切り替えます。☛ p.23
接続している機器の電源は入っていますか？	機器の電源を入れます。
（コンピューター映像信号投写時のみ） プロジェクターに映像信号が出力されていますか？	映像信号がコンピューターの液晶モニター以外（外部）にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。
	本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn（ファンクション）キーが使えないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
フォーカス調整しましたか？	フォーカス調整を行います。☛ p.24
レンズカバーが閉じていませんか？	レンズカバーを開けます。☛ p.22
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を確認してください。☛ p.16
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。 ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	Video入力時 環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.51
	PC入力時 環境設定メニューの［PC信号入力方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［PC信号入力方式］ p.51
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.17
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。
（コンピューター映像信号投写時のみ） ［同期］/［トラッキング］は正しく調整されていますか？	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。 この場合は、環境設定メニューの［トラッキング］/［同期］で調整します。☛［映像］-［トラッキング］/［同期］ p.47
（コンピューター映像信号投写時のみ） 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.76

映像の一部が切れる（大きい）、小さい

確認	対処法
［アスペクト］は正しく選択していますか？	Aspect ボタンを押して入力信号に合った［アスペクト］を選択してください。☛［映像］-［アスペクト］ p.47
［表示位置］は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの［表示位置］で調整します。☛［映像］-［表示位置］ p.47
（コンピューター映像信号投写時のみ） 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.76
［3D方式設定］が［オート］以外の設定になっていませんか？	AV機器の3Dフォーマットと本機の［3D方式設定］が合っていないと映像の一部が切れて表示されます。3D映像を投写するときは［オート］に設定されていることを確認してください。☛［映像］-［3D設定］-［3D方式設定］ p.47

色合いが違う

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	Video入力時 環境設定メニューの［ビデオ信号方式］を［オート］設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［ビデオ信号方式］ p.51
	PC入力時 環境設定メニューの［PC信号入力方式］を［オート］に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☛［拡張設定］-［入力信号］-［PC信号入力方式］ p.51
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.17 Video入力端子やPC入力端子の場合は、コネクターと同じ色のケーブル端子を接続します。☛ p.17
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの［コントラスト］を調整してください。☛［画質］-［コントラスト］ p.46
適切に色の調整がされていますか？	環境設定メニューの［アドバンスト］を調整してください。☛［画質］-［アドバンスト］ p.46
（ビデオ機器の映像信号投写時のみ） 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの［色の濃さ］/［色合い］を調整してください。☛［画質］-［色の濃さ］/［色合い］ p.46

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの［明るさ］を設定してください。☛［画質］-［明るさ］ p.46
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの［コントラスト］を調整してください。☛［画質］-［コントラスト］ p.46
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.72

自動的に投写が消える

確認	対処法
［スリープモード］が働いていませんか？	映像信号が入らない状態で、あらかじめ設定した時間操作しないと、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押すと電源が入ります。［スリープモード］を働かせないときは設定を［オフ］にします。☛［拡張設定］-［動作設定］-［スリープモード］ p.51

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押します。
［チャイルドロック］を［オン］に設定していませんか？	環境設定メニューの［チャイルドロック］を［オン］に設定している場合は、操作パネルの ⏻ ボタンを約3秒間押し続けるか、リモコンで操作します。☛ ［設定］-［ロック設定］-［チャイルドロック］ p.49
電源コードを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、 ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。☛ 『お問い合わせ先』

リモコンでのトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作可能範囲を確認してください。☛ p.21
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能範囲を確認してください。☛ p.21
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。☛ p.21

3Dでのトラブル

3Dで正しく投写できない

確認	対処法
3Dメガネの電源が入っていますか？	3Dメガネの電源を入れてください。
3D映像が投写されていますか？	本機が2D映像を投写しているときや、本体側のエラーなどで3D映像を投写していないときは3Dメガネをかけても3D映像を視聴できません。
入力映像が3Dに対応していますか？	入力映像が3Dに対応しているか確認してください。 テレビ放送の多くは、3Dフォーマットの識別信号が含まれていないため、手動で設定する必要があります。
［3D表示］を［オフ］に設定していませんか？	環境設定メニューの［3D表示］を［オフ］に設定していると、3D入力信号で自動的に3Dに切り替わりません。2D/3Dボタンを押してください。☛ ［映像］-［3D設定］-［3D表示］ p.47

確認	対処法
正しい3D方式に設定していますか？	本機の3D方式は自動で選択されますが、3Dの効果が正しく表示されない場合は、環境設定メニューの［3D方式設定］で選択してください。☛［映像］-［3D設定］-［3D方式設定］ p.47
受信範囲で視聴していますか？	3Dメガネが本機と交信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。☛ p.37
ペアリングは正常にできていますか？	3Dメガネの取扱説明書を参照し、ペアリングを実施してください。
電波干渉を引き起こす機器が周囲にありませんか？	他のBluetooth通信機器や無線LAN（IEEE802.11b/g）、電子レンジなどの周波数帯（2.4GHz）と同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。

3D映像が引き伸ばされた状態で切れる

確認	対処法
3Dの映像フォーマットは合っていますか？	3Dの映像フォーマットが合っていないと、映像が切れて表示されます。正しい3Dフォーマットに設定してください。☛ p.35

HDMIのトラブル

HDMIリンクで操作できない

確認	対処法
HDMI規格に準拠したケーブルを使用していますか？	HDMI規格に適合していないケーブルでは動作しません。
HDMI CEC規格に対応した機器を接続していますか？	接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 また、HDMI Link ボタンを押し、［接続機器一覧］で利用可能かどうか確認してください。☛ p.42
ケーブル類が正しく接続されていますか？	HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続されているか確認します。☛ p.41
接続しているアンプやDVDレコーダーなどの電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 スピーカーなどを接続しているときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
新しく機器を接続したり、接続を変更しましたか？	新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が必要な場合があります。
プレイヤーを何台も接続していませんか？	HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続機器一覧に機器名が表示されない

確認	対処法
接続機器がHDMI CEC規格に対応していますか？	接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

USBストレージデバイスのトラブル

スライドショーが開始されない

確認	対処法
セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスを使用していませんか？	セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスは、使用できないことがあります。

その他のトラブル

音が出ない、小さい

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	Audio (L-R)端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。 ☛ p.27
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音声が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。

本体パネルで操作できない

確認	対処法
［操作ボタンロック］を［オン］に設定していませんか？	環境設定メニューの［操作ボタンロック］を［オン］に設定していると、⏻ ボタン以外の操作パネルのボタンはすべて無効になります。リモコンで操作します。 ☛ ［設定］-［ロック設定］-［操作ボタンロック］ p.49

無線LANでネットワーク接続ができない

確認	対処法
パスフレーズは正しいですか？	パスフレーズは大文字小文字を区別するので、注意してください。設定したパスフレーズが不明な場合は再度設定しなおしてください。
Event IDは確認しましたか？	Event IDの番号を確認し、次の対処法に従ってください。 ☛ ［情報］-［Event ID］ p.55

Event ID について

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

☛ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
0483 04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☛ 『お問い合わせ先』

お手入れの方法

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

> ⚠ 警告
>
> 本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

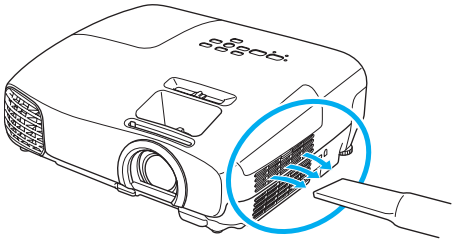
エアフィルターの掃除

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

> 注意
>
> - エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3か月に一度はエアフィルターの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
> - エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
> - 軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入り込み取れなくなります。

1 リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押し電源を切り、電源コードを抜きます。

2 掃除機でエアフィルターのホコリを表側から吸い取ります。



本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

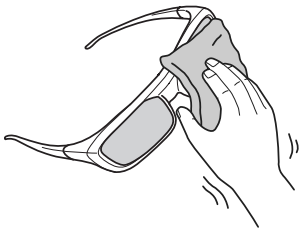
レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。

3Dメガネの掃除

メガネレンズの汚れは、3Dメガネに同梱のクリーナーで軽くふき取ってください。



注意

- メガネレンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- お手入れの際には、USB充電AC電源アダプターをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してから行ってください。

3Dメガネには充電池が含まれています。廃棄するときは、地域の廃棄ルールに従ってください。

消耗品の交換時期

エアフィルターの交換時期

- エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき ☛ p.69

ランプの交換時期

- 投写開始時に、次のメッセージが表示されたとき
  「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jpをご覧ください。」
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約4900時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使いの状況により変わります。
  交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

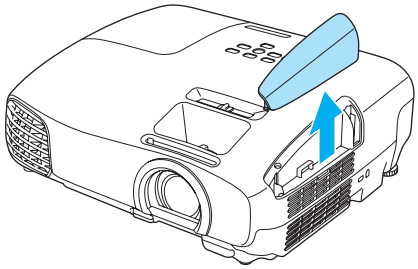
消耗品の交換

エアフィルターの交換方法

使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
フィルター枠：ABS
フィルター：ポリウレタンフォーム

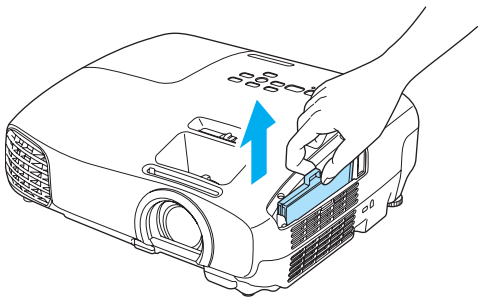
1 リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押し電源を切り、電源コードを抜きます。

2 エアフィルターカバーを開けます。



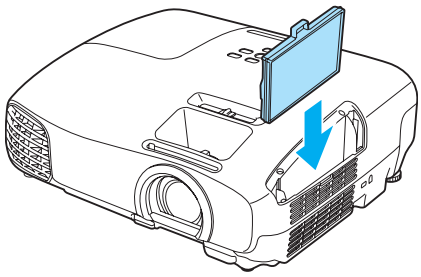
3 古いエアフィルターを取り外します。

タブに指をかけてまっすぐ引き出します。

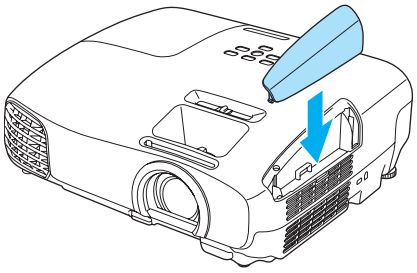


4 新しいエアフィルターを取り付けます。

外側からエアフィルターをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



5 エアフィルターカバーを閉めます。



ランプの交換方法

⚠ 警告

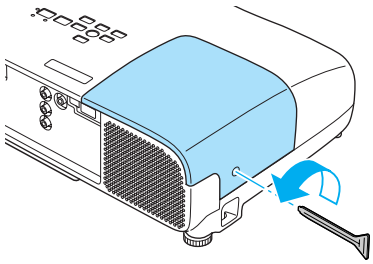
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

- 電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの性能をフルに発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のものを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

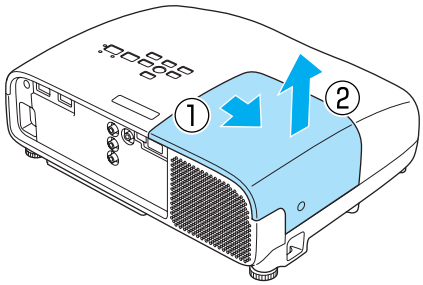
1 リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押し電源を切り、電源コードを抜きます。

2 ランプカバー固定ネジをゆるめます。

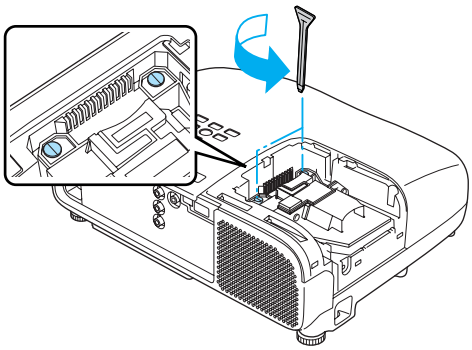


3 ランプカバーを取り外します。

ランプカバーをまっすぐスライドさせて外します。

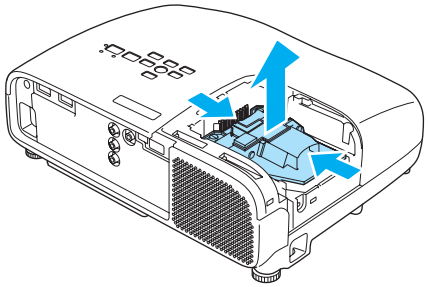


4 ランプ固定ネジ2本をゆるめます。



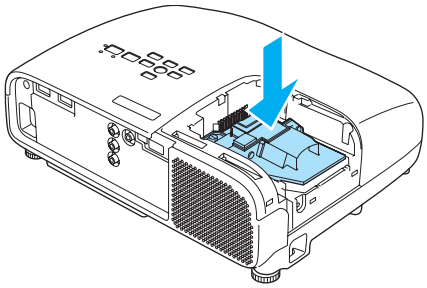
5 古いランプを取り出します。

突起部をつまんでまっすぐ引き抜きます。

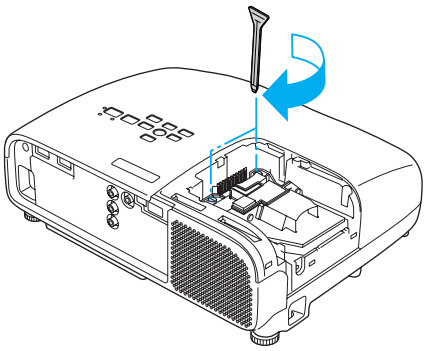


6 新しいランプを取り付けます。

向きを合わせて押し込みます。

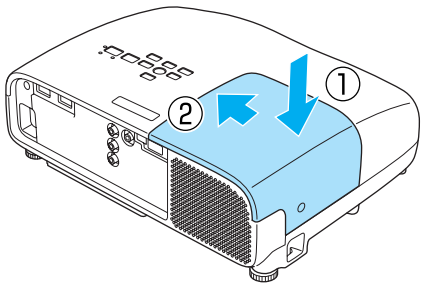


7 ランプ固定ネジ2本をしっかり締めます。

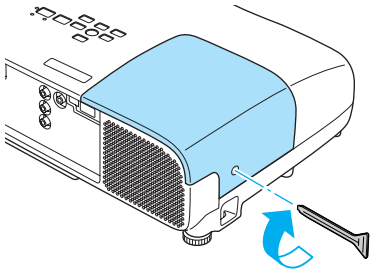


8 ランプカバーを取り付けます。

スライドさせながらカバーを取り付けます。



9 ランプカバー固定ネジを締めます。



⚠ 警告

ランプの分解・改造は絶対しないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

⚠ 注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀（Hg）が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達すると、メッセージやインジケーターでお知らせします。

1 電源を入れます。

2 Menu ボタンを押します。

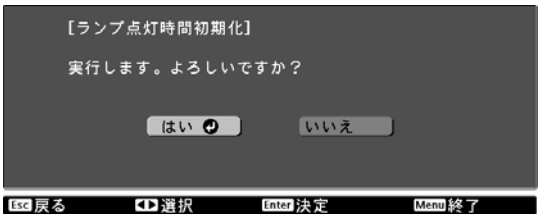
環境設定メニューが表示されます。

3 ［初期化］－［ランプ点灯時間初期化］を選択します。

初期化を確認する画面が表示されます。

4 ◀▶ ボタンで［はい］を選択し、Enter ボタンを押して実行します。

ランプ点灯時間が初期化されます。



オプション・消耗品一覧

下記のオプション•消耗品を用意しています。 用途に合わせてお買い求めください。 これらのオプション•消耗品類は2013年6月現在のものです。 予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
天吊り金具※	ELPMB23	本機を天井に取り付けるときに使います。
パイプ450（450mmホワイト）※	ELPFP13	高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
パイプ700（700mmホワイト）※	ELPFP14	
RF方式3Dメガネ	ELPGS03	3Dの映像を楽しむときに購入してください。
USB充電AC電源アダプター	ELPAC01	3Dメガネを充電するときに使います。
無線LANユニット 802.11b/g/n(2.4GHz)	ELPAP07	本機と外部機器を無線LANで接続して投写するときに使います。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。 お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

消耗品

名称	型番	説明
交換用ランプ	ELPLP78	使用済みランプと交換します。（ランプ1個）
エアフィルター	ELPAF32	使用済みのエアフィルターと交換します。（エアフィルター1枚）

対応解像度一覧

コンピューター映像（アナログRGB）

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）
VGA	60	640 x 480
SVGA	60	800 x 600
XGA	60	1024 x 768
SXGA	60	1280 x 960
	60	1280 x 1024
WXGA	60	1280 x 768
	60	1366 x 768
	60	1280 x 800
WXGA++	60	1600 x 900

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）
TV（NTSC）	60	720 x 480
TV（SECAM）	50	720 x 576
TV（PAL）	50/60	720 x 576

HDMI1/HDMI2入力信号

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）
VGA	60	640 x 480
SDTV（480i）	60	720 x 480
SDTV（576i）	50	720 x 576
SDTV（480p）	60	720 x 480
SDTV（576p）	50	720 x 576
HDTV（720p）	50/60	1280 x 720
HDTV（1080i）	50/60	1920 x 1080
HDTV（1080p）	24/30/50/60	1920 x 1080

MHL入力信号

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）
SDTV（480i）	60	720 x 480

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）
SDTV（576i）	50	720 x 576
SDTV（480p）	60	720 x 480
SDTV（576p）	50	720 x 576
HDTV（720p）	50/60	1280 x 720
HDTV（1080i）	50/60	1920 x 1080
HDTV（1080p）	24/30	1920 x 1080

3D入力信号 HDMI

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV750p（720p）	50/60	1280 x 720	✓	✓	✓
HDTV1125i（1080i）	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV1125p（1080p）	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV1125p（1080p）	24	1920 x 1080	✓	✓	✓

3D入力信号 MHL

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV750p（720p）	50/60	1280 x 720	-	✓	✓
HDTV1125i（1080i）	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV1125p（1080p）	50/60	1920 x 1080	-	-	-
HDTV1125p（1080p）	24	1920 x 1080	-	✓	✓

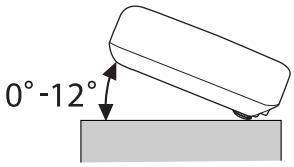
仕様一覧

商品名		EH-TW5200
外形寸法		297（幅） x 108（高さ） x 247（奥行き） mm
パネルサイズ		0.61型ワイド
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス
画素数		横1920 x 縦1080 x 3
走査周波数	デジタル	ピクセルクロック：13.5 - 150 MHz
		水平：15 - 80 kHz
		垂直：24、30、50 - 85 Hz
	アナログ	ピクセルクロック：13.5 - 150 MHz
		水平：15 - 80 kHz
		垂直：24、50 - 85 Hz
フォーカス調整		手動
ズーム調整		手動（約1 - 1.2）
ランプ（光源）		UHEランプ　定格200W、型番：ELPLP78
電源		100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、3.0 - 1.4 A
消費電力	100 - 120 Vエリア	定格消費電力：300 W
		待機時消費電力：0.28 W
	220 - 240 Vエリア	定格消費電力：287 W
		待機時消費電力：0.31 W
動作高度		標高0～3000 m
動作温度範囲		＋5～＋35℃※（結露しないこと）
保存温度範囲		－10～＋60℃（結露しないこと）
質量		約2.8kg
接続端子		PC入力端子x1系統、ミニD-sub 15pin（メス）青色
		HDMI入力端子x2系統、HDMI HDCP対応、CEC信号対応、MHL信号対応(HDMI1入力端子のみ)、リニアPCM対応、Deep Color
		Video入力端子x1系統、RCAピンジャック
		RS-232C端子x1系統、D-sub 9pin（オス）
		音声入力（L-R）端子x1系統、RCAピンジャック
		USB 2.0 TypeA端子x1系統
		Audio Out端子x1系統、ステレオミニピンジャック
スピーカー		最大入力2 W x 1

※ 標高2287m～3000mで使用する場合は＋5～＋30℃。

傾斜角度

12˚以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります



ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。詳細は以下のWebサイトにてご確認ください。

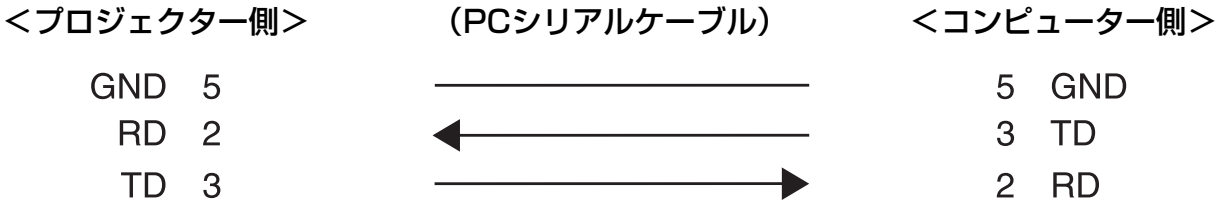
http://www.epson.jp

RS-232Cケーブル配線

RS232Cクロスケーブルをお使いください。

- コネクター形状：D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名：RS-232C
- 信号名：

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ



- 通信プロトコル
  ボーレート基準速度：9600 bps
  データ長：8 bit
  パリティ：なし
  ストップビット：1 bit
  フロー制御：なし

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、i はインターレース走査） • 画面のアスペクトは16：9・ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、モバイル端末で映像信号の高速伝送を実現する、高精細映像向けの接続インターフェースの規格のことをいいます。 MHLはスマートフォンやタブレット端末をターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま伝送し、電源供給も行います。
NTSC	National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。
PAL	Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SECAM	SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。 フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのものを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのものを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのものを呼びます。
YCbCr	SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。
YPbPr	HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4：3です。

インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へひとつ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
ペアリング	Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。

一般のご注意

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

3Dメガネ使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。その他何かお困りのことが起きたときはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

商標について

EPSONおよびELPLPはセイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI LicensingLLCの商標、または登録商標です。

Full HD 3D Glasses™とFull HD 3D Glasses™ロゴはFull HD 3D Glasses Initiative™の登録商標です。

Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

Bluetopia® is provided for your use by Stonestreet One, LLC® under a software license agreement. Stonestreet One, LLC® is and shall remain the sole owner of all right, title and interest whatsoever in and to Bluetopia® and your use is subject to such ownership and to the license agreement. Stonestreet One, LLC® reserves all rights related to Bluetopia® not expressly granted under the license agreement and no other rights or licenses are granted either directly or by implication, estoppel or otherwise, or under any patents, copyrights, mask works, trade secrets or other intellectual property rights of Stonestreet One, LLC®.
© 2000-2012 Stonestreet One, LLC® All Rights Reserved.

MHL、MHLのロゴ、および Mobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国における MHL,LLCの商標または登録商標です。

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allienceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google Playは、Google Inc.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2013. All rights reserved.

数字・アルファベット

3D明るさ調整 47
3D映像 35
3D設定 47
3D表示 47
3D方式設定 47
3Dメガネ 35
3Dメガネ左右反転 47
3Dメガネの掃除 70
CEC規格 41
Deep Color 55
DHCP 54
ESC/VP21 79
Event ID 55, 68
HDMI1端子 18
HDMI1入力端子 17
HDMI2入力端子 17
HDMI端子 41
HDMIビデオレベル 48
HDMIリンク 41
IPアドレス 54
IPアドレス表示 55
IP設定 54
MHL対応機器の接続 18
PC信号入力方式 52
PC入力端子 17
RGB 46
RGBCMY 32, 46
RGBの調整 32
SSID 54
SSID表示 54
USB 43
USB機器の接続 18
USB端子 18

ア

明るさ 46
明るさ切替 46
アクセスポイント検索 54
アスペクト 30, 47
アドバンスト 46
異常/警告インジケーター 57
イルミネーション 51
色合い 46
色温度 46
色の濃さ 46
インジケーター 57
エアフィルターの掃除 69
エアフィルター 69
エアフィルターカバー 71
エアフィルターの交換 71
エアフィルターの交換時期 70
映像処理 48
映像メニュー 47
オートアイリス 34, 47
オーバースキャン 48
オフセット 32, 46
音量 27, 49

カ

外形寸法 14
拡張設定メニュー 51
画質 29
画質メニュー 46
型番表示モード 51
傾き調整 25
カラーモード 29, 46
環境設定メニュー 45
基本設定メニュー 53
クールダウン 23
ゲイン 32, 46
ゲートウェイアドレス 54
言語 52
交換時期 70
高地モード 51
コントラスト 46
コンピューターとの接続 17

サ

彩度 32, 46
サブネットマスク 54
サブメニュー 45
色相 32, 46
視聴注意の表示 47
視聴範囲 37
自動絞り 34
自動タテ補正 25, 49
自動調整 47
シャープネス 34, 46
写真 43
仕様一覧 78
情報メニュー 55
消耗品の交換 71
消耗品の交換時期 70
初期化 47, 48, 51, 52
初期化メニュー 55, 56
シリアル番号 55
ズーム 30
ズーム調整 24
ズームリング 8
スタートアップスクリーン 51
ステータス 55
スマートフォン・タブレット端末の接続 18

スライド式ヨコ補正 26, 49
スライドショー 43
スリープモード 51
セキュリティー 55
セキュリティーメニュー 55
接続 17
接続モード 54
設置モード 50
設定メニュー 49
全初期化 56
操作パネル 8, 9
操作範囲 21
走査方式 55
操作ボタンロック 50
ソフトキーボード 53

タ

対応解像度 76
台形補正 25, 49
台形ゆがみ 25
ダイレクトパワーオン 51
高さ調整 25
タテ補正 49
タテヨコ 49
タテヨコ補正 26
チャイルドロック 50
チャンネル設定 54
テストパターン表示 24
電源 22, 23
点灯時間 74
同期 47
同期情報 55
動作設定 51
投写サイズ 16
投写サイズの調整 24
トップメニュー 45
トラッキング 47

ナ

入力解像度 55
入力信号 52, 55
入力ソース 23, 55
ネットワークメニュー 52
ノイズ 63
ノイズリダクション 48

ハ

バージョン 55
背景表示 51
パスフレーズ 55
ビデオ機器との接続 17
ビデオ信号方式 52, 55
ビデオ入力端子 17
表示位置 47
表示設定 51
ピント 62
ピント調整 24
フォーカス調整 24
フォーカスリング 8, 24
フル 30
ペアリング 36
ボリューム 27
本体の掃除 69

マ

無線LAN電源 54
無線LANメニュー 54
明度 32, 46
メッセージ表示 51
メニュー 45

ヤ

ユーザーボタン 50
ヨコ補正 49
ヨコ補正スライダー 9

ラ

ランプカバー 8, 72
ランプカバー固定ネジ 72
ランプ点灯時間 55
ランプ点灯時間初期化 56, 74
ランプの交換 72
ランプの交換時期 70
リフレッシュレート 55
リモコン 10, 21
レンズの掃除 70
ロック設定 50